

令和5年度 一般会計決算附属資料

市長公室 主要な施策の成果

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	8,896千円		9,643千円	747千円	92.2 %		
	目	01 一般管理費					(参考)当初予算額	課	秘書広報広聴課
	事業	03 秘書・渉外事務					9,704千円		
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	諸収入 京都市市町村職員等共同研修助成金 4千円				
目的		市長及び副市長の公務及び慶弔対応等の渉外業務を円滑に遂行する。							
主要な事業・事業の概要	市長及び副市長の秘書・渉外業務を適正かつ円滑に行い、市政の円滑な運営を図るため、市長・副市長の出張経費、交際費、慶弔、新年賀詞交歓会に係る経費等を支出した。				○公用車維持管理経費（2台） 969千円				
	○交際費 944千円				・燃料費 464千円				
	・市長交際費（各種会費等49件） 485千円				・定期点検、修繕費、消耗品費等 414千円				
	・弔慰金（14件） 459千円				・自動車損害保険料 91千円				
	○秘書・渉外事務経費 437千円				○負担金 1,538千円				
	・事務用品等 127千円				・市長会負担金（全国、近畿、京都府） 1,350千円				
	・来客用茶葉等 15千円				・首長の会負担金（全国青年市長会、万博首長連合） 130千円				
	・市長・副市長名刺 51千円				・その他負担金（北京都政経文化懇話会、研修参加等） 58千円				
	・備品購入（バックパネルスタンド、日米国旗） 244千円								
	○会計年度任用職員任用経費（公用車管理員1人） 2,835千円								
	○公務出張経費 2,173千円				成果・課題	市長及び副市長の秘書・渉外業務を適正かつ円滑に行うことで、市政の円滑な運営に資することができた。			
	・旅費 1,457千円								
	・有料道路通行料等 584千円								
	・自動車借上料、駐車場使用料 132千円								

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	236千円		396千円	160千円	59.5 %		
	目	01 一般管理費					(参考)当初予算額	課	秘書広報広聴課
	事業	07 功労者表彰等事務					641千円		
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源					
目的	市表彰条例等に基づき、自治功労者等審査委員会の開催、表彰の実施など、適正な表彰事務を行い、被表彰者の功績をたたえる。								
主要な事務・事業の概要	自治功労者等の被表彰者を選考するための自治功労者等審査委員会の開催経費及び市社会福祉大会（11月19日）における表彰経費を支出した。								
	○自治功労者等審査委員会開催経費（1回開催） ・委員報酬（4千円×6人×1回） ・委員費用弁償								
主要な事務・事業の概要	○自治功労者等表彰経費 ・表彰者記念品 ・表彰関係経費（賞状印刷等） 表彰者：福祉分野の功績者13人 （福祉分野以外の功績者、善行者は市制20周年記念式典で表彰予定）				成果・課題	表彰事務を適正かつ円滑に行うことにより、自治功労者等を選考し、その功績をたたえることができた。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	市長公室																																																																																								
	項	01 総務管理費	13,206千円		13,487千円		281千円		97.9 %																																																																																											
	目	02 職員管理費							(参考)当初予算額		課	人事課																																																																																								
	事業	01 人事給与事務							17,980千円																																																																																											
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	諸収入 公舎使用料負担金 462千円																																																																																															
目的		人事情報システムの導入による人事管理業務の効率化を図るとともに、複雑多様化する行政課題に対応するための人材の確保・育成、評価・処遇等を連動させた人材マネジメントを推進する。 また、民間副業人材を活用し、多様な地方創生課題の取組を推進する。																																																																																																		
主要な事務・事業の概要	○一般事務経費		9,660千円		※令和5年度職員採用試験実績（単位：人）																																																																																															
	・給与人事システムサポート負担金		1,555千円		<table><tr><th colspan="2"></th><th>一般事務</th><th>土木系技術</th><th>建築系技術</th><th>電気系技術</th><th>保健師</th><th>保育士・保育教諭</th><th>消防職員</th><th>社会福祉士</th><th>精神保健福祉士</th><th>介護支援専門員</th><th>合計</th></tr><tr><td rowspan="2">一般</td><td>応募</td><td>76</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>6</td><td>5</td><td>1</td><td></td><td></td><td>94</td></tr><tr><td>採用</td><td>18</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td></td><td></td><td>26</td></tr><tr><td rowspan="2">社会人</td><td>応募</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td>0</td><td>5</td></tr><tr><td>採用</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td rowspan="2">障害者</td><td>応募</td><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr><tr><td>採用</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr></table> ・一般及び障害者募集 3回（6月、9月、1月）実施 ・社会人募集 通年（令和5年度中）実施 U・Iターンを希望する市外在住者を対象とした募集（年齢要件 31～40歳）										一般事務	土木系技術	建築系技術	電気系技術	保健師	保育士・保育教諭	消防職員	社会福祉士	精神保健福祉士	介護支援専門員	合計	一般	応募	76	1	2	1	2	6	5	1			94	採用	18	0	1	0	1	3	2	1			26	社会人	応募	3	0	0	1	1				0	0	5	採用	0	0	0	0	1				0	0	1	障害者	応募	2										2	採用	1										1
			一般事務	土木系技術									建築系技術	電気系技術	保健師	保育士・保育教諭	消防職員	社会福祉士	精神保健福祉士	介護支援専門員	合計																																																																															
	一般	応募	76	1									2	1	2	6	5	1			94																																																																															
		採用	18	0									1	0	1	3	2	1			26																																																																															
	社会人	応募	3	0									0	1	1				0	0	5																																																																															
		採用	0	0									0	0	1				0	0	1																																																																															
	障害者	応募	2																		2																																																																															
		採用	1																		1																																																																															
	・人事情報システム導入及び使用料		2,700千円																																																																																																	
・人材マネジメントコンサルティング委託料		4,114千円																																																																																																		
・給与支給明細書印刷代		278千円																																																																																																		
・公舎借上経費		798千円																																																																																																		
・参考図書、消耗品、職員旅費等		195千円																																																																																																		
・駐車場使用料、有料道路通行料		20千円																																																																																																		
○民間副業人材活用経費（2分野2人を委嘱）		2,433千円																																																																																																		
・謝金、費用弁償		1,333千円																																																																																																		
・リクルーティング業務委託		1,100千円																																																																																																		
○会計年度任用職員募集経費		110千円																																																																																																		
・募集チラシ新聞折込代（1回）及び用紙代		110千円																																																																																																		
○職員採用経費		1,003千円																																																																																																		
・採用試験採点委託料		351千円																																																																																																		
・募集チラシ新聞折込代（3回）及び用紙代		256千円																																																																																																		
・リクルーティングサイト保守委託料		396千円																																																																																																		
成果・課題		○職員採用の専用サイトを含む各種SNSでの広報、求人掲載サイトの活用、就職フェアへの参加、インターンシップの実施等、職員の声や仕事内容等を紹介するための情報発信を行い、受験者の確保につなげた。 ○シティプロモーション・産業ネットワークづくり、関係人口づくりの2つの分野で民間副業人材を活用した事業を実施した。 ○特に専門職の採用が困難かつ応募者数も少ない状況で、内定辞退者も増加傾向であるため、人材確保に向けた広報及び内定者のつなぎ止めを強化する必要がある。																																																																																																		

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室		
	項	01 総務管理費	1,882千円		1,891千円	9千円	99.5 %				
	目	02 職員管理費					(参考)当初予算額				
	事業	02 職員研修会事務						2,690千円	課	人事課	
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	諸収入 京都市町村職員等共同研修助成金 537千円							
目的	「職員人材育成基本方針」及び「職員研修計画」に基づき、職務の遂行に必要な知識・技能等を習得する研修を実施し、職員の行政運営能力の向上と質の高い行政サービスを提供する。										
主要な事務・事業の概要	○市主催研修		1,038千円		○派遣研修（他団体等が実施する研修）					844千円	
	・研修委託料		799千円		・旅費					685千円	
	・講師旅費		52千円		・負担金（北部7市職員合同研修）					43千円	
	・研修用事務経費（消耗品費）		187千円		・有料道路通行料（市町村振興協会、共済組合研修等）					81千円	
	受研者数（オンラインによる受研を含む） 延べ1,431人				・駐車場使用料（市町村振興協会、共済組合研修等）					35千円	
	【実施研修】 978人				受研者数（オンラインによる受研を含む） 延べ259人						
	新規採用職員研修（採用時・中間・後期）				【派遣研修】 154人						
	新規採用職員人材育成担当者研修				京都府市町村振興協会主催研修（新採職員研修、法制執務研修ほか）						
	管理・監督職（評価者）研修				北部7市職員合同研修（舞鶴市）						
	管理・監督職（マネジメント・OJT）研修				共済組合研修（メンタルヘルス研修） ほか						
	人権研修、財務会計研修、税外債権管理研修				【eラーニング研修】 105人						
	ジェンダーギャップ解消研修、育休セミナー ほか				京都府市町村振興協会主催研修（法制執務研修、10年目職員研修、議会広報研修会、課長研修ほか）						
	【eラーニング研修】 453人				成果・課題	○コロナ禍を経て対面式とオンラインを合わせたハイブリット形式の研修やeラーニング研修、職員ノートPCを用いたペーパーレス形式の研修を行うなど、効率的・効果的な研修を行うことができた。 ○職員ニーズに即した研修を引き続き実施していくとともに、職員の自発的な学習を支援するための環境整備を行う。					
	情報セキュリティ研修										
	個人情報保護研修										
	デジタルリテラシー研修										
	個人情報取扱担当者のための個人情報保護セミナー										
	マイナンバー利用事務・関係事務担当者のための個人情報保護セミナー ほか										
	※eラーニング研修：オンライン研修の1つで、静止画や動画などをインターネットを利用して受講者が一方的に視聴する研修										

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	4,677千円		4,731千円	54千円	98.8 %		
	目	02 職員管理費					(参考)当初予算額	課	人事課
	事業	03 職員派遣研修事務					4,731千円		
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源					
目的	国、京都府等に職員を派遣し、政策立案過程や課題解決方法等を学ぶとともに、専門的かつ総合的な知識と技能の修得により、職員の資質を高める。								
主要な事務・事業の概要	○国、京都府等での実務研修生に係る経費				4,677千円				
	・ 職員の赴任・帰任に係る旅費等				767千円				
	・ 借上げ住居に係る費用（家賃、敷金、仲介手数料等）				3,745千円				
	・ 借上げ住居退去に係る費用				165千円				
	※研修派遣先								
	派遣先		人数	職					
	中小企業庁 経営支援部 小規模企業振興課（R2～5年度）		1人	商工振興課付 主任級					
	文部科学省 初等中等教育局（R3～5年度）		1人	学校教育課付 主任級					
	京都府 商工労働観光部 染織・工芸課（R3年度～）		1人	商工振興課付 主事級					
	日本国際博覧会協会 地域・観光部（R4～5年度）		1人	商工振興課付 主任級					
					成果・課題	○派遣先での実務経験を通して、より広い視野での政策の企画立案や課題の解決等、今後の業務における活用が期待できる。 ○他機関での実務研修や人材交流等は、職員の資質や能力の向上など、人材育成に有効であり、継続的に行っていく必要がある。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室																																				
	項	01 総務管理費	7,397千円		7,449千円	52千円	99.3 %																																						
	目	02 職員管理費					(参考)当初予算額	課	人事課																																				
	事業	04 福利厚生事務					11,810千円																																						
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源																																									
目的		職員の健康管理の維持・増進と福利厚生を図り、公務の効率を高める。																																											
主要な事務・事業の概要	○定期健康診断				6,736千円																																								
	・職員健康診断委託料				6,736千円																																								
	○ストレスチェック				601千円																																								
	・ストレスチェック委託料（簡易票調査、集団分析）				361千円																																								
	・医師派遣委託料（高ストレス者の面接指導）				240千円																																								
	○研修会旅費、健診用消耗品等				60千円																																								
	<table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">対象者</th><th rowspan="2">対象者数</th><th colspan="3">受診者数</th><th rowspan="2">受診率</th></tr><tr><th>巡回健診</th><th>人間ドック</th><th>合計</th></tr><tr><td rowspan="2">定期健診</td><td>職員</td><td>1,052人</td><td>924人</td><td>127人</td><td>1,051人</td><td>99.9%</td></tr><tr><td>会計年度任用職員等 (病院を除く)</td><td>447人</td><td>393人</td><td>54人</td><td>447人</td><td>100.0%</td></tr><tr><td rowspan="2">ストレスチェック</td><td>職員</td><td>1,016人</td><td>—</td><td>—</td><td>1,012人</td><td>99.6%</td></tr><tr><td>会計年度任用職員等 (病院を含む)</td><td>657人</td><td>—</td><td>—</td><td>654人</td><td>99.5%</td></tr></table>										対象者	対象者数	受診者数			受診率	巡回健診	人間ドック	合計	定期健診	職員	1,052人	924人	127人	1,051人	99.9%	会計年度任用職員等 (病院を除く)	447人	393人	54人	447人	100.0%	ストレスチェック	職員	1,016人	—	—	1,012人	99.6%	会計年度任用職員等 (病院を含む)	657人	—	—	654人	99.5%
		対象者	対象者数	受診者数									受診率																																
				巡回健診	人間ドック	合計																																							
	定期健診	職員	1,052人	924人	127人	1,051人				99.9%																																			
会計年度任用職員等 (病院を除く)		447人	393人	54人	447人	100.0%																																							
ストレスチェック	職員	1,016人	—	—	1,012人	99.6%																																							
	会計年度任用職員等 (病院を含む)	657人	—	—	654人	99.5%																																							
成果・課題		○健康診断の受診方法や受診日、会場等を複数設定し受診率向上を図るとともに、職員衛生委員会で健康管理対策について検討し、職員の健康管理・保持につなげた。 ○ストレスチェックを実施し、高ストレス者への対応を行うほか、健康診断結果による事後指導を実施し、職員自らの健康管理・保持についての意識を高めた。 ○精密検査未受診者への受診勧奨に引き続き取り組んでいく必要がある。																																											

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	56,881千円		56,976千円	95千円	99.8 %		
	目	02 職員管理費					(参考)当初予算額	課	人事課
	事業	05 ふるさと創生職員制度推進事業					74,818千円		
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 45,000千円				
目的		アフターコロナを展望した地方創生が求められる中、京丹後市に帰ってきたい、あるいは地方での暮らしと仕事をしたいと考えている方々の受け皿を創設し、U・Iターンの活性化につなげ、任期終了後の定住促進につなげる。							
主要な事務・事業の概要	○ふるさと創生職員（任期付職員）任用経費		56,881千円		※令和5年度ふるさと創生職員採用実績				
	・給料		31,027千円		・応募者数 18人				
	・職員手当（通勤、時間外勤務、期末勤勉手当）		14,657千円		・採用決定 4人				
	・共済費（社会保険料等）		7,599千円		・業務分野及び採用月				
	・職員採用委託料		1,100千円		①ふるさと納税を活用した地域づくり3.0プロジェクト推進担当				
	（広報戦略、Web募集、採用支援等）				（令和5年11月採用）				
	・住居借上補助金		2,498千円		②グローバル人材の育成プロジェクト推進担当				
					（令和6年1月採用）				
	【参考】ふるさと創生職員数				③「百才活力社会」～100歳時代行動戦略～推進担当				
	・令和6年3月末現在 13人				（令和6年4月採用）				
				④重層的支援体制の構築推進担当					
				（令和6年4月採用）					
				成果・課題	○任期付短時間勤務で副業可能とした「ふるさと創生職員制度」は、Iターン・Uターン希望者等の雇用の受け皿を創出するとともに、地方公務員の多様な働き方の一つとして、働き方改革につながっている。				
					○任期満了に伴う退職者1人は市内定住につながった。				
					○担当部局の職員が参加するオンラインでの募集説明会を実施するなど、市が求める人材像のPRに努めた。				
					○これまでの制度運用に見直しを加えながら、引き続き市が求める人材の確保、U・Iターンの活性化及び移住定住の推進に努めていく必要がある。				

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室	
	項	01 総務管理費	21,839千円		21,924千円	85千円	99.6 %			
	目	05 広報費					(参考)当初予算額	課	秘書広報広聴課	
	事業	01 広報広聴事業					25,085千円			
基本計画		21 市民参画・協働によるまちづくり		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）			278千円	
			府補		障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）			139千円		
			府補		きょうと地域連携交付金（市政情報放送事業）			3,100千円		
目的	市民の市政参加の推進及び市政情報の共有を図るため、広報紙を発行するとともに、LINEなどのSNSやコミュニティFM放送の活用により、市政情報等を効果的に発信する。		繰入金		ふるさと応援基金繰入金			10,000千円		
			諸収入		広報郵送料負担金			71千円		
			諸収入	有料広告収入			1,397千円			
主要な事務・事業の概要	地域の出来事や市政情報を効果的に発信するため、広報紙等の発行及びSNSで発信する経費を支出した。				○広報業務経費					676千円
					・ 広報用資材・事務用品等経費					657千円
					・ 旅費（取材等）					19千円
	○広報紙作成経費				14,793千円					
	・ 広報京丹後印刷製本代（年12回発行） （5～10月号 20,650部、11～4月号 20,510部）				8,747千円					
	・ おしらせ版印刷製本代（年12回発行） （5～10月号 20,350部、11～4月号 20,210部）				3,501千円					
	・ 広報京丹後別冊「新コミュのススメ」印刷製本代				801千円					
	・ 広報紙音訳データ作成委託料				1,005千円					
	・ 編集用ソフト使用料				223千円					
	・ インターネット回線使用料				69千円					
・ 広報紙送料				447千円						
○市政情報発信経費				6,336千円						
・ 京丹後コミュニティFM（FMたんご）放送委託料				5,412千円						
・ 公式LINE運用・保守委託料				924千円						
				成果・課題	○広報紙及びおしらせ版の発行、ホームページ、SNS、防災行政無線、コミュニティFMの活用により、市政情報等を市民へ広く発信することができた。 OSNS等の情報発信方法や、広報紙を市外向け情報発信ツールとして活用するなど、更に効果的な情報発信の方法を模索する必要がある。					

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	1,802千円		1,822千円	20千円	98.9 %		
	目	05 広報費					(参考)当初予算額	課	秘書広報広聴課
	事業	02 市ホームページ運用管理事業					1,822千円		
基本計画		21 市民参画・協働によるまちづくり		主な財源	諸収入 有料広告収入 220千円				
目的	市ホームページにより市政情報やくらしの情報、災害情報、子育て情報、移住・定住情報、観光・イベント情報、企業・事業主向け情報などを提供し、市民の利便性の向上や市民参画の推進、市の魅力発信による交流人口・関係人口の増加を図る。								
主要な事務・事業の概要	市民サービスの向上や市民参画の推進、移住や観光による交流人口の増加を図るためのホームページの管理に係る経費を支出した。 ○市ホームページ運用保守管理委託料 1,802千円								
				成果・課題	○図書館システムや施設予約システムの更新に係る連携や関連情報の発信、機構改革に伴うデータ移行などを円滑に行い、安定したホームページの管理・運用を行うことができた。 ○さらにホームページの発信力を高めるため、研修の実施などによる職員のスキルアップも含め、積極的な更新や掲載を心がけるなど、より利便性の高いホームページづくりを図る必要がある。				

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	24,658千円		25,027千円	369千円	98.5 %		
	目	08 庁舎管理費					(参考)当初予算額	大宮市民局	
	事業	02 大宮庁舎管理事業							25,874千円
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	使用料	公有財産使用料			3,338千円
目的		大宮庁舎の円滑な運営を行うため、庁舎及び公用車を適切に維持管理する。			諸収入	公衆電話使用料			1千円
主要な事務・事業の概要	行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理経費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。 ○庁舎維持管理経費 23,667千円 ・光熱水費及び燃料費（電気、上下水道、ガス） 10,939千円 ・修繕料（トイレ手洗い水栓、火災感知器ほか） 562千円 ・施設清掃委託料（庁舎内清掃） 1,027千円 ・施設保守点検等委託料 2,036千円 （自家用電気工作物保安管理、自動ドア、エレベータほか） ・会計年度任用職員任用経費（日直1人）10月～ 740千円 ・宿日直業務委託料（宿直1人、日直1人） 4,511千円 ・環境衛生管理委託料（建築物衛生法に基づく業務） 1,581千円 ・火災保険料（庁舎、車庫） 50千円 ・工事請負費（高圧ケーブル更新） 1,764千円 ・備品購入費（蓄圧式消火器11本） 79千円 ・その他経費（消耗品費、ごみ持込処理手数料） 378千円				○公用車維持管理経費 886千円 ・燃料費、修繕費（3台） 752千円 ・車検費用 対象車2台（登録手数料、自動車重量税） 59千円 ・保険料（自動車損害保険料3台、自賠責保険料2台） 75千円 ○駐車場用地借上料（社協支所前職員駐車場 289㎡） 105千円				
					成果・課題	○庁舎の適正な維持管理に努め、安全・安心のまちづくりを推進する拠点施設として円滑な運営を行った。 ○閉庁日の日直業務を業務委託及び会計年度任用職員で対応することにより、職員のワークライフバランスの向上に資することができた。 ○庁舎及び公用車の老朽化により、維持修繕費用の増加が見込まれるため、計画的に改修や更新を行う必要がある。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	15,306千円		15,611千円	305千円	98.0 %		
	目	08 庁舎管理費					(参考)当初予算額	課	網野市民局
	事業	03 網野庁舎管理事業					16,562千円		
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	使用料	公有財産使用料			175千円
					諸収入	網野庁舎光熱水費負担金			158千円
目的		網野庁舎の円滑な運営を行うため、庁舎及び公用車を適切に維持管理する。							
主要な事務・事業の概要	行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理経費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。 ○庁舎維持管理経費 14,516千円 ・光熱水費及び燃料費（電気、上下水道、ガス、灯油等） 5,550千円 ・修繕料（建設部エアコン交換、排水ポンプ取替 他） 745千円 ・施設清掃委託料 558千円 ・設備維持管理費及び保守点検業務委託料 1,461千円 （自家用発電機工作物保安管理、空調機、エレベーター等） ・会計年度任用職員任用経費（日直1人）7月～ 1,093千円 ・宿日直業務委託料（宿直1人、日直1人） 4,511千円 ・デマンド監視業務委託料 82千円 ・除草作業委託料 87千円 ・火災保険料（庁舎、倉庫） 37千円 ・備品購入費（消火器18本、ドライブレコーダー1台） 175千円 ・その他経費（消耗品費、ごみ持込処理手数料ほか） 217千円				○公用車維持管理経費 790千円 ・公用車燃料費、修繕料（4台分） 621千円 ・車検費用（対象2台：登録手数料、自動車重量税） 80千円 ・保険料（自動車損害保険料4台分、自賠責保険料2台分） 89千円				
					成果・課題	○庁舎の適正な維持管理に努め、安全・安心のまちづくりを推進する拠点施設として円滑な運営を行った。 ○庁舎及び公用車の老朽化により、維持修繕費用の増加が見込まれるため、計画的に改修や更新を行う必要がある。 ○閉庁日の日直業務体制を委託することにより、職員のワークライフバランスの向上に資することができた。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	20,042千円		20,226千円	184千円	99.0 %		
	目	08 庁舎管理費					(参考)当初予算額	課	丹後市民局
	事業	04 丹後庁舎管理事業					20,226千円		
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	使用料	公有財産使用料			251千円
目的		丹後庁舎の円滑な運営を行うため、庁舎及び公用車を適切に維持管理する。			諸収入	丹後庁舎光熱水費負担金			771千円
主要な事務・事業の概要	行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理経費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。 ○庁舎維持管理経費 19,140千円 ・光熱水費及び燃料費（電気、上下水道、ガス、灯油等） 6,387千円 ・修繕料（自動ドア錠修繕、トイレ詰まり解消修繕ほか） 1,652千円 ・施設清掃等委託料 947千円 ・設備保守点検等委託料 1,422千円 （自家用電気工作物保安管理、エレベーター、自動ドア、空調設備ほか） ・会計年度任用職員任用経費（日直1人）7月～ 1,114千円 ・宿日直業務委託料（宿直1人、日直1人） 4,511千円 ・デマンド監視業務委託料 55千円 ・環境衛生管理委託料 1,689千円 ・火災保険料（庁舎、車庫、倉庫ほか） 77千円 ・備品購入費（印刷機1台） 786千円 ・その他経費（消耗品費、清掃用具借上料ほか） 500千円				○公用車維持管理経費 902千円 ・燃料費、修繕料（4台） 743千円 ・車検費用 対象車2台（登録手数料、自動車重量税） 66千円 ・保険料（共済分担金4台、自動車損害保険料2台） 91千円 ・タイヤ処分料 2千円				
					成果・課題	○庁舎の適正な維持管理に努め、安全・安心のまちづくりを推進する拠点施設として円滑な運営を行った。 ○地域公民館や図書室の機能を有しているほか、JA京都間人支店、市社会福祉協議会丹後支所が庁舎を利用しており、効率的な管理運営に努めた。 ○閉庁日の日直業務を業務委託及び会計年度任用職員で対応することにより、職員のワークライフバランスの向上に資することができた。 ○塩害と経年劣化により、維持修繕費用の増加が見込まれるため、計画的な改修・修繕を行う必要がある。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	37,742千円		37,832千円	90千円	99.7 %		
	目	08 庁舎管理費					(参考)当初予算額	課	弥栄市民局
	事業	05 弥栄庁舎管理事業					40,991千円		
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）	主な財源	諸収入	弥栄庁舎光熱水費負担金 1,852千円				
				諸収入	弥栄庁舎火災保険料負担金 1千円				
目的		弥栄庁舎の円滑な運営を行うため、庁舎及び公用車等を適切に維持管理する。							
主要な事務・事業の概要	行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理経費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。 ○庁舎維持管理経費 36,134千円 ・光熱水費及び燃料費（電気、上下水道、灯油） 2,842千円 ・修繕料（庁舎内維持補修） 491千円 ・施設清掃委託料（庁舎内清掃） 224千円 ・設備保守点検等委託料 1,060千円 （エレベーター、自動ドア、消防設備、自家用電気工作物） ・会計年度任用職員任用経費（日直1人）10月～ 687千円 ・宿日直業務委託料（宿直1人、日直1人） 4,511千円 ・デマンド監視業務委託料 55千円 ・火災保険料（庁舎、倉庫） 46千円 ・弥栄庁舎外壁改修 25,155千円 工事監理委託料 1,218千円 工事請負費 23,937千円 ・懸垂幕装置設置（工事請負費） 957千円 ・その他経費（消耗品費、ごみ持込処理手数料ほか） 106千円				○公用車維持管理経費 853千円 ・燃料費、修繕料（3台） 661千円 ・車検費用 対象車1台（車検整備、登録手数料、自動車重量税） 134千円 ・保険料（自動車損害保険料3台、自賠責保険料1台） 58千円 ○土地借上料 755千円 ・庁舎敷地及び駐車場（2,171.15㎡）				
					成果・課題	○庁舎の適正な維持管理に努め、安全・安心のまちづくりを推進する拠点施設として円滑な運営を行った。 ○庁舎の老朽化により、維持修繕費用の増加が見込まれるため、計画的に改修や更新を行う必要がある。 ○閉庁日の日直業務体制を委託することにより、職員のワークライフバランスの向上に資することができた。 ○庁舎を共用（事務所活用）している外部団体と庁舎内の調整会議を行い効率の良い共同管理に努めた。今後も経費節減に努めていく必要がある。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	1,278千円		1,500千円	222千円	85.2 %		
	目	08 庁舎管理費					(参考) 繰越予算額	課	弥栄市民局
	事業	05 弥栄庁舎管理事業（繰越）					1,500千円		
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源					
目的		弥栄庁舎の円滑な運営を行うため、庁舎を適切に維持管理する。							
主要な事務・事業の概要	○庁舎維持管理経費 需用費 修繕料（維持補修費） 弥栄庁舎漏水・汚水桝配管修繕 （契約：令和5年3月31日、工事完了：令和5年4月28日）				1,278千円				
					成果・課題				

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室					
	項	01 総務管理費	12,630千円		13,197千円	567千円	95.7 %							
	目	08 庁舎管理費					(参考)当初予算額							
	事業	06 久美浜庁舎管理事業						12,666千円						
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	使用料	公有財産使用料 90千円								
					諸収入	久美浜庁舎光熱水費負担金 321千円								
目的		久美浜庁舎の円滑な運営を行うため、庁舎及び公用車等を適切に維持管理する。												
主要な事務・事業の概要	行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理経費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。				○公用車維持管理経費 718千円									
	○庁舎維持管理経費 11,321千円				・燃料費、修繕料（車4台、自転車1台） 507千円									
	・光熱水及び燃料費（電気、上下水道、ガス、灯油） 3,379千円				・車検費用 対象車3台（登録手数料、自動車重量税） 102千円									
	・修繕料（倉庫シャッター、自家用発電機等） 747千円				・保険料（自動車損害保険料4台、自賠責保険料3台） 109千円									
	・施設清掃委託料 453千円				○庁舎倉庫借上料 591千円									
	・施設保守点検委託料 692千円				（土地853.50㎡、建物663.96㎡）									
	（リフト、自動ドア、自家用電気工作物、消防設備）													
	・会計年度任用職員任用経費（日直1人）7月～ 1,076千円													
	・宿日直業務委託料（宿直1人、日直1人） 4,514千円													
	・デマンド監視業務委託料 82千円													
・火災保険料（庁舎・倉庫ほか） 30千円														
・調査委託料（外部軒天部・電源・水道配管） 182千円														
・その他経費（消耗品、ごみ処理手数料ほか） 166千円														
					<table><tr><td rowspan="2">参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>12,937千円</td></tr><tr><td>実質的な予算執行率</td><td>97.6%</td></tr></table>					参考	繰越明許費を除いた最終予算額	12,937千円	実質的な予算執行率	97.6%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	12,937千円												
	実質的な予算執行率	97.6%												
					■令和6年度への繰越事業 260千円									
					・久美浜庁舎玄関ドア修繕事業 令和6年4月完了									
					成果・課題	○庁舎の適正な維持管理に努め、安心・安全のまちづくりを推進する拠点施設として円滑な運営を行った。 ○庁舎及び公用車の老朽化により、維持修繕費の増加が見込まれるため、計画的に改修や更新を行う必要がある。 ○閉庁日の日直業務体制を委託することにより、職員のワークライフバランスの向上に資することができた。 ○地域公民館、図書室、社会福祉協議会、シルバー人材センターが入庁しており各団体と市民局間の連携、連絡の強化を行う必要がある。								

予算科目目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	133,787千円		356,841千円	223,054千円	37.4 %		
	目	08 庁舎管理費					(参考)当初予算額	424,453千円	
	事業	07 庁舎整備事業							
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	市債 庁舎整備事業債（合併特例債） 102,400千円					
目的	京丹後市総合計画の都市機能構想に基づく都市拠点及び地域拠点の形成に向け、SDGsの達成やSociety5.0、脱炭素社会の実現等の世界的潮流も踏まえ、市民が未来への活力を創造できる魅力的で持続可能なまちづくりのグランドデザイン推進事業として、京丹後市庁舎増築棟等を整備する。								
主要な事務・事業の概要	○庁舎増築棟整備経費		120,791千円		○庁舎増築棟等オフィス環境整備経費		149千円		
	・手数料（建築確認等：防災倉庫、増築棟）		1,939千円		・アドバイザー謝金（14千円×1人×6回）		84千円		
	・設計審査支援業務委託料		3,215千円		・旅費（費用弁償）		65千円		
	・工事請負費		109,810千円		○事務経費（職員旅費、有料道路通行料、駐車場使用料等）		346千円		
	防災倉庫新築工事、峰山福祉センター倉庫解体工事、職員駐車場整備工事（旧吉原グラウンド、丹後文化会館駐車場）								
	・引越委託料（物品等搬送）〔総務課〕		980千円						
	・備品購入費（新防災倉庫用ラック）〔総務課〕		4,806千円						
	・廃棄物処分経費等（EVパワーステーション）〔総務課〕		41千円						
	○オフィス環境整備（フリーアドレス等）実証経費		12,501千円						
	・内線無線化システム整備経費		1,903千円						
・内線無線化機器借上料（50台）		688千円							
・内線無線化ソフトライセンス使用料等		346千円							
・備品購入費等（デスク、打ち合わせテーブル等）		9,195千円							
・既存什器撤去処分費		369千円							
				成果・課題	○増築棟や新たな働き方に対応するオフィス環境の検討を進めることができた。 ○庁舎整備に向け、防災倉庫建築のための既存倉庫の撤去や職員駐車場の整備を完了することができた。 ○庁舎増築棟、峰山庁舎、大宮庁舎の整備及び新たな働き方に対応するオフィス環境について、引き続き計画的に進めていく必要がある。				

予算科目目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室			
	項	01 総務管理費	125,097千円		174,484千円	49,387千円	71.6 %					
	目	08 庁舎管理費					(参考)繰越予算額	課	政策企画課			
	事業	07 庁舎整備事業（繰越）					174,484千円					
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）	主な財源	市債 庁舎整備事業債（合併特例債） 102,200千円								
目的	京丹後市総合計画の都市機能構想に基づく都市拠点及び地域拠点の形成に向け、SDGsの達成やSociety5.0、脱炭素社会の実現等の世界的潮流も踏まえ、市民が未来への活力を創造できる魅力的で持続可能なまちづくりのグランドデザイン推進事業として、京丹後市庁舎増築棟整備を実施する。											
主要な事務・事業の概要	○庁舎増築棟整備経費 125,097千円 ・建築確認手数料（防災倉庫） 140千円 ・工事設計委託料 107,060千円 増築棟（基本設計、開発申請、ZEB設計、地盤調査、実施設計） ・旧吉原小学校跡職員駐車場整備（実施設計・電気） 429千円 ・オフィス環境整備業務委託料（基本計画・基本設計） 17,468千円						成果・課題			○庁舎増築棟の実実施設計や新たな働き方に対応するオフィス環境の基本設計を進めることができた。 ○庁舎増築棟、峰山庁舎、大宮庁舎の整備及び新たな働き方に対応するオフィス環境について、引き続き計画的に進めていく必要がある。		

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室		
	項	01 総務管理費	9,733千円		9,910千円	177千円	98.2 %				
	目	09 企画費					(参考)当初予算額	課	政策企画課		
	事業	01 国際交流・多文化共生推進事業					9,910千円				
基本計画		24 国際交流・多文化共生と広域連携の促進	主な財源	府補	きょうと地域連携交付金（国際交流・多文化共生推進事業）			2,000千円			
				諸収入	京都府市町村職員等共同研修助成金			11千円			
				諸収入	Hロウイング 宝くじ市町村等交付金			1,494千円			
目的		京丹後市国際交流協会と連携・協力し、外国人相談支援に取り組むほか、国際交流員（CIR）を任用することにより、幅広い分野における国際交流を推進し、多文化共生社会の実現を目指す。									
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員（国際交流員）任用経費（1人）		4,638千円		○京丹後市国際交流協会活動費補助金					4,000千円	
	【活動実績】国際交流事業の企画、市発行物の翻訳など				【京丹後市国際交流協会の活動概要】						
	・報酬、費用弁償、社会保険料、雇用保険料、共済負担金		4,412千円		会員数：個人会員110人、団体会員24団体（令和6年3月末時点）						
	・入居者サポート手数料、更新手数料、火災保険料		45千円		・国際理解教室（9回、参加者：397人）						
	・国際交流員研修費、旅費、自治体国際化協会負担金		181千円		・日本語教室（学習者：35人、延べ参加人数455人）						
	○多文化共生推進プラン評価検討会議（1回開催）		79千円		・外国語講座（3講座、参加者：53人、ケーブルテレビ等での放送）						
	・委員（10人）及びアドバイザー（1人）謝金		54千円		・ピーチクリーン（参加者58人、交流会34人）等						
	・費用弁償		25千円								
	○事務経費		12千円								
	・旅費、有料道路通行料、駐車場使用料										
成果・課題	○委託料		1,004千円								
	・外国人相談支援業務委託料（相談件数130件）		759千円								
	・多文化共生等事業委託料（研修会参加者15人）		135千円								
	・外国にルーツを持つ家庭サポート業務委託料（参加者24人）		110千円								

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	12,033千円		12,065千円	32千円	99.7 %		
	目	09 企画費					(参考)当初予算額	課	政策企画課
	事業	02 京丹後市夢まち創り大学運営事業					11,830千円		
基本計画		24 国際交流・多文化共生と広域連携の促進	主な財源	国補 寄附金	デジ 刈田園都市国家構想交付金（1/2） ふるさと応援寄附金			5,580千円 1,600千円	
目的	市内の各地域と大学が連携・協働するフィールドワークなどの実践的な活動を支援し、地域の産品を用いた商品開発、イベントやワークショップの企画・運営等を通し、地域課題の解決や地域の活性化を図る。								
主要な事務・事業の概要	○京丹後市夢まち創り大学運営補助金 9,503千円 ・コーディネート業務等委託料 7,800千円 ・シェアハウス維持管理費（浄化槽、火災保険等） 116千円 所在地：網野町郷、丹後町中浜 ・シェアハウス運営費（家賃、光熱水費、器具等使用料等） 1,528千円 ・振込手数料、費用弁償等 59千円 ※ 学生の来丹人数：延べ1,118人（R4：延べ717人） シェアハウス利用人数：延べ544人（R4：延べ166人） 地域と大学の協働により、参加11大学で17プログラムを実施（R4：9団体、13プログラム） ※ 大学の主な活動内容 ・地域と協働で田植えを行い開発した米のふるさと納税返礼品の登録 ・農産物を使った商品開発、販売 ・地域イベントへの出展、映像撮影 ・織物事業者へのインターンシップ、染色体験イベントの実施 ・防災マップの作成、避難所運営訓練の実施 ・海岸漂着ごみの調査、マイクロプラスチック除去装置の実験 ・道の駅での就業体験 ・地域交通の現状調査 ・地域の未来を議論する地域ワークショップの運営 等				○市マイクロバスの運行経費 2,410千円 （京丹後市⇄京都市内：年間40回、延べ841人利用） ・燃料費 498千円 ・バス運転委託料 1,362千円 ・有料道路通行料 550千円 ○オンライン連携等必要経費 120千円 ・拠点施設（旧郷小学校校舎）の通信運搬費（電話代、Wi-Fi利用料）				
					成果・課題	○新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、前年度よりも多くの学生がフィールドワークを実施することができた。 ○大学生が地域とともに商品の開発や、移住・定住をテーマとしたワークショップを開催するなど、各大学の専門性を活かした活動が実施された。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室		
	項	01 総務管理費	46,421千円		46,421千円	0千円	100.0 %				
	目	09 企画費					(参考)当初予算額	課	政策企画課		
	事業	03 韓哲・まちづくり夢基金					2,294千円				
基本計画	21 市民参画・協働によるまちづくり	主な財源	財産収入 韓哲・まちづくり夢基金利子収入 2,494千円								
目的	韓昌祐氏からの寄附金を活用し、本市の教育、文化、芸術等まちづくりにつながる人材育成、顕彰等を行うことを目的に設置した「韓哲・まちづくり夢基金」への積立金		寄附金 ふるさと応援寄附金 43,927千円								
主要な事務・事業の概要	○韓哲・まちづくり夢基金積立金（寄附分：539件）		43,927千円								
	○韓哲・まちづくり夢基金積立金（利子分）		2,494千円								
	（参考）基金の状況		（単位：千円）								
	令和4年度末 現 在 高 ①	令和5年度中増減額			令和5年度末 現 在 高 ①-②+③+④						
		繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④							
	622,796	25,193	2,494	43,927	644,024						
	＜充当：5事業、25,193千円＞										
	①グローバル人材育成事業		12,636千円								
	②韓哲・まちづくり夢基金事業補助金		8,866千円								
	③高等学校全国募集入学生応援事業		1,980千円								
④第3回京丹後市民陸上記録会		238千円									
⑤京丹後市文化芸術振興計画及び文化庁移転に伴う文化芸術推進事業		1,473千円									
		成果・課題									

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	8,944千円		8,945千円	1千円	99.9 %		
	目	09 企画費					(参考)当初予算額	課	政策企画課
	事業	04 韓哲・まちづくり夢基金事業					10,162千円		
基本計画		21 市民参画・協働によるまちづくり		主な財源	繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 8,866千円				
目的	韓哲・まちづくり夢基金を活用し、本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の興隆その他のまちづくりに繋がる人材育成、顕彰等を行う者に対して、企画公募型の補助金を交付して支援し、市民等の夢の実現を後押しする。								
主要な事務・事業の概要	○韓哲・まちづくり夢基金運用委員会経費（委員6人、2回開催）			70千円	○事務経費 8千円				
	内容：基金の活用方法等の審議、補助事業の選定				・旅費、有料道路通行料				
	・委員報酬（4千円／人）			62千円					
	・費用弁償等			8千円					
	○韓哲・まちづくり夢基金事業補助金			8,866千円					
	市内団体・個人から10事業の申請があり、韓哲・まちづくり夢基金運用委員会での審査を経て、全ての事業を採択し補助金を交付した。								
	①「キコリ谷「森のピアノ」」			1,000千円					
	②「アーティストが当たり前にいるまち事業」			844千円					
	③「子どもたちに食×アートの体験を提供する芸術文化教育事業」			1,000千円					
	④「大地は器 土と絵と音のコラボレーション」			970千円					
	⑤「伝説の里・羽衣音舞台」			1,000千円					
	⑥「まるっぽ美術館」			1,000千円					
⑦「ロコスハートフェス」			487千円	成果・課題	○韓哲・まちづくり夢基金運用委員会を開催し、基金の適正な活用方法の検討や補助事業の選定を行った。 ○韓哲・まちづくり夢基金を活用し、市民が夢の実現に向けて取り組む活動に対して補助金を交付することにより、その夢の実現を後押しした。				
⑧「子どもが能を学ぶプロジェクト」			1,000千円						
⑨「丹後から能楽師プロジェクト」			1,000千円						
⑩「蒲井・旭ツリーハウスフェスティバル開催事業」			565千円						

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	1,235千円		1,321千円	86千円	93.4 %		
	目	09 企画費					(参考)当初予算額	課	政策企画課
	事業	05 総合計画・総合戦略推進事業					2,166千円		
基本計画		29 幸福度指標を活用した施策点検		主な財源					
目的	第2次京丹後市総合計画及び第2期京丹後市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進のため、京丹後市総合計画審議会を開催し、進捗管理を行う。 また、第2次総合計画の計画期間が令和6年度までとなっていることから、総合計画の見直しに向けた基礎資料とするため、市民アンケートを実施する。								
主要な事務・事業の概要	○総合計画審議会経費（委員30人、1回開催）				81千円				
	内容：第2次総合計画「基本計画」及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に係る審議								
	・委員報酬（4千円／人）				68千円				
	・費用弁償等				13千円				
	○市民アンケート実施経費				1,154千円				
	内容：新たな総合計画の策定に向けて、市民・若者を対象としたアンケートを実施								
	対象人数：市民アンケート 3,200人								
	若者アンケート 3,200人（18歳～40歳）								
	※回答数（回答率）								
	市民アンケート 1,258人（39.3%）								
	若者アンケート 666人（20.8%）								
	・印刷製本費				306千円				
	・通信運搬費				848千円				
					成果・課題	○総合計画及び総合戦略の進捗状況等について審議会において審議を行い、共有を図った。 ○アンケートの実施により、次期総合計画の策定に向けた基礎資料とすることができた。 ○引き続き人口減少対策等の取組を進めていくとともに、収集したデータ等を参考に、令和6年度に総合計画を見直す必要がある。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費					100.0 %		
	目	09 企画費	1,102,699千円		1,102,699千円	0千円	(参考)当初予算額	課	ふるさと応援推進課
	事業	06 ふるさと応援基金					960,022千円		
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	財産収入 ふるさと応援基金利子収入 423千円				
					寄附金 ふるさと応援寄附金 1,102,276千円				
目的	ふるさと応援寄附金を活用した活力あるふるさとづくりを推進することを目的に、ふるさと応援基金へ積立を行う。								
主要な事務・事業の概要	○ふるさと応援基金積立金（寄附件数：67,669件） 1,102,699千円 （ふるさと応援寄附金分 1,102,276千円、利子分 423千円）				＜充当：30事業、1,055,846千円＞ 主な充当事業				
	（参考）基金の状況（単位：千円）				・ 峰山クリーンセンター管理運営事業 140,000千円				
					・ 道路橋梁維持補修事業 140,000千円				
					・ 放課後児童健全育成事業 120,000千円				
				・ 予防接種事業 90,000千円					
				・ 保育業務委託事業 80,000千円					
				・ 保育所管理運営事業 65,000千円					
				・ 認定こども園保育利用管理運営事業 62,000千円					
				・ 奨学金事業 25,000千円					
				・ その他 22事業 333,846千円					

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室							
	項	01 総務管理費	979,079千円		1,026,542千円	47,463千円	95.3 %									
	目	09 企画費					(参考)当初予算額	課	ふるさと応援推進課							
	事業	07 ふるさと応援寄附金推進事業					763,840千円									
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	寄附金	ふるさと応援寄附金				565,649千円						
目的		ふるさと納税制度を活用した寄附者への返礼として市の特産品等を送ることにより、自主財源の増加を図るとともに特産品のPRを図る。			繰入金	ふるさと応援基金繰入金				5,846千円						
主要な事務・事業の概要	○特産品等返礼業務委託料等				933,746千円		○ふるさと産品創出支援事業補助金（6件）				30,394千円					
	寄附者（市外在住の個人）に返礼の特産品等を贈呈						・京の味覚「京都産極上紅はるか」の冷凍焼き芋開発プロジェクトほか									
	・ポータルサイト（12サイト）運営業務				928,779千円		CF寄附実績額：77,229千円、補助対象経費：30,947千円									
	※返礼品対象寄附金額：1,800,424千円（76,487件）						補助率：寄附額の10分の4（※補助対象経費の額の合計額が上限）									
	・LedgHOME（一元管理システム）管理運営業務				396千円		○ふるさと産品生産強化等支援事業補助金（2件）				974千円					
	・ワンストップ特例申請業務（18,412件）				4,571千円		・京都伝統の味を広めたい！小野甚醤油・ドレッシング増産プロジェクトほか									
	○クレジット決済手数料				9,855千円		CF寄附実績額：2,435千円、補助対象経費：1,698千円									
	インターネットからの寄附申込に対し、クレジット決済等で対応						補助率：寄附額の10分の4（※補助対象経費の額の合計額が上限）									
	○企業版ふるさと納税寄附受付業務委託料（3件）				55千円		<table><tr><td rowspan="2">参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>979,364千円</td></tr><tr><td>実質的な予算執行率</td><td>99.9 %</td></tr></table>				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	979,364千円	実質的な予算執行率	99.9 %	
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	979,364千円													
実質的な予算執行率		99.9 %														
ポータルサイト経由の寄附申込に対する手数料（寄附額×10%）																
○ふるさと産品創出等支援事業推進業務委託料（2件）				146千円		■令和6年度への繰越事業				47,178千円						
「#ふるさと納税3.0」事業への金融機関によるマッチング支援						・ふるさと産品生産強化等支援事業補助金（1件）				令和6年10月完了予定						
CF寄附実績額（2,435千円）×6%						<table><tr><td rowspan="3">成果・課題</td><td colspan="2">○魅力あるページづくりに努め、検索対策や広告運用を行ったことにより、寄附件数及び寄附額の増加とともに、特産品のPRが図られた。</td></tr><tr><td colspan="2">○新たな返礼品創出や既存返礼品の生産力拡充を狙った支援制度により、9件（うち1件繰越）のプロジェクトを実施することができ、返礼品の多様化が図られた。</td></tr><tr><td colspan="2">○更なる寄附件数及び寄附金額の増加を図るため、各ポータルサイトのページづくりや、返礼品の拡充、関係者との連携体制の構築、効果的なプロモーションの実施などに一層取り組む必要がある。</td></tr></table>				成果・課題	○魅力あるページづくりに努め、検索対策や広告運用を行ったことにより、寄附件数及び寄附額の増加とともに、特産品のPRが図られた。		○新たな返礼品創出や既存返礼品の生産力拡充を狙った支援制度により、9件（うち1件繰越）のプロジェクトを実施することができ、返礼品の多様化が図られた。		○更なる寄附件数及び寄附金額の増加を図るため、各ポータルサイトのページづくりや、返礼品の拡充、関係者との連携体制の構築、効果的なプロモーションの実施などに一層取り組む必要がある。	
成果・課題	○魅力あるページづくりに努め、検索対策や広告運用を行ったことにより、寄附件数及び寄附額の増加とともに、特産品のPRが図られた。															
	○新たな返礼品創出や既存返礼品の生産力拡充を狙った支援制度により、9件（うち1件繰越）のプロジェクトを実施することができ、返礼品の多様化が図られた。															
	○更なる寄附件数及び寄附金額の増加を図るため、各ポータルサイトのページづくりや、返礼品の拡充、関係者との連携体制の構築、効果的なプロモーションの実施などに一層取り組む必要がある。															
○寄附手続事務関係経費				121千円												
消耗品費（事務用品等）、印刷製本費（お礼品カタログ）																
通信運搬費（郵送料）																
○会計年度任用職員任用経費（事務補助員1人）				3,788千円												

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	48,812千円		51,406千円	2,594千円	94.9 %		
	目	09 企画費					(参考)当初予算額		
	事業	08 ふるさとブランド推進事業					60,978千円	課	ふるさと応援推進課
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		国補 繰入金	デザイン・外田園都市国家構想交付金（1/2） ふるさと応援基金繰入金			693千円 30,000千円		
目的	地域、関係機関等との連携やデータ分析に基づくプロモーションにより、ふるさと納税を活用した地域ブランディング及び地域経済の活性化を目指す。			主な財源					
主要な事務・事業の概要	○プロモーション経費		35,168千円		○派遣職員受入経費（家屋借上料、職員派遣負担金）				
	・ふるさと納税特設サイト等充実費用		10,755千円	泉佐野市から1人（4～6月）、京都北都信用金庫から1人（1年間）					
	ふるさと納税を通じたシティプロモーションを展開するため、旅行やカニ、日本酒等の本市の魅力発信動画の制作等			○＃ふるさと納税3.0推進アドバイザー旅費					63千円
	・ウェブ広告等PR費用		12,931千円	○事務経費					3,860千円
	ポータルサイトでのPR広告		2,060千円	・消耗品費（イベント等消耗品）					369千円
	SNSやプレスリリース配信サービス等によるPR		1,846千円	・印刷製本費					713千円
	雑誌等の紙媒体によるシティプロモーション		2,755千円	お礼状 60,000枚、企業版ふるさと納税DM用チラシ 11,500部等					
	TV放送、インターネットライブ配信によるPR		6,270千円	・通信運搬費（企業版ふるさと納税DM発送費用等）					808千円
	・PRグッズ作成費用		1,290千円	・旅費、有料道路通行料、駐車場使用料（イベント等）					1,449千円
	イベント配布用 2,000個、ビニールバッグ 4,000枚等			・その他手数料等（説明会WEB配信等）					521千円
	・総合パンフレット作成費用		10,192千円						
	まちの魅力発信、ふるさと納税返礼品紹介を1冊に集約（27,800部） 送付希望の寄附者への発送（約15,300部）のほかイベント等で配布			成果・課題	○ポータルサイト内のPR等に加え、メルマガ、Web広告やSNS、雑誌・パンフレット、TV等の幅広い媒体を活用したほか、リアルイベントで関係機関と連携した直接的なPRを行うことにより、本市の認知拡大や魅力発信を図ることができた。 ○本市や地場産品等の魅力をより深く伝え、実際の来訪など本市のファン化につなげていくため、発信内容や対象により的確な媒体や手法を選定し、より効果的なプロモーションに取り組む必要がある。				
○京丹後市ふるさとネットワーク運営・情報発信費用		1,762千円							
高速バスへの会員募集チラシ配架、会員向け地域情報等の発信									

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	293千円		294千円	1千円	99.6 %		
	目	09 企画費					(参考)当初予算額	課	政策企画課
	事業	10 野村克也メモリアルプロジェクト推進事業					605千円		
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	国補 徳島県田園都市国家構想交付金（1/2） 100千円					
目的	本市の名誉市民である野村克也氏の功績を称え、顕彰と市内外への発信を行うメモリアル事業を実施する。								
主要な事務・事業の概要	○野村克也メモリアルプロジェクト委員会経費 224千円								
	・委員会開催経費（謝金、費用弁償） 144千円 （委員16人、2回） ・野村克也賞検討チーム（謝金、費用弁償） 80千円 （委員6人、3回）								
	○市内高校書道部野村語録作品展 69千円								
	・消耗品費								
	【野村克也語録作品展】								
	野村克也ベースボールギャラリー ： R6.2.11～R6.2.19 ショッピングセンターマイン ： R6.3.11～R6.3.20 野村克也講演会時（アミティ丹後） ： R6.3.23								
成果・課題	○野村克也メモリアルプロジェクト委員会を開催し、野村克也賞の創設に向けた検討を行った。 ○高校書道部の生徒が自ら選んだ野村語録を作品にして展示会を開催し、高校生自らが野村克也氏の言葉に触れることができたほか、市民へ発信することができた。								

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室	
	項	01 総務管理費	100,086千円		100,087千円	1千円	99.9 %			
	目	09 企画費					(参考)当初予算額	課	政策企画課	
	事業	12 都市拠点等整備まちづくり推進基金					100,004千円			
基本計画		12 快適な都市空間の形成		主な財源	財産収入 都市拠点等整備まちづくり推進基金利子収入 86千円					
目的	京丹後市総合計画及び京丹後市都市計画マスタープランに掲げる都市拠点及び地域拠点の整備を円滑に進めることを目的に、都市拠点等整備まちづくり推進基金へ積立を行う。									
主要な事務・事業の概要										
	○都市拠点等整備まちづくり推進基金積立金		100,086千円							
	(元金分 100,000千円、利子分 86千円)									
	(参考) 基金の状況		(単位：千円)							
		令和4年度末 現 在 高	令和5年度中増減額			令和5年度末 現 在 高				
		①	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	①-②+③+④				
		200,046	0	86	100,000	300,132				
										成果・課題

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	10,946千円		10,970千円	24千円	99.7 %		
	目	09 企画費					(参考)当初予算額	課	政策企画課
	事業	13 都市拠点等整備推進事業					11,713千円		
基本計画		12 快適な都市空間の形成	主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 7,000千円					
目的	京丹後市総合計画の都市機能構想に基づく都市拠点の形成に向け、都市拠点にふさわしい役割や機能を担う公共施設について、基本計画を検討し具体化を図る。								
主要な事務・事業の概要	○都市拠点公共施設整備基本計画策定検討会議経費 650千円								
	・委員謝金（委員等11人、5回） 236千円								
主要な事務・事業の概要	・旅費（費用弁償、職員旅費） 133千円								
	・使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料） 75千円								
主要な事務・事業の概要	・その他視察経費（バス運転委託料、燃料費等） 92千円								
	・アドバイザー謝金（1人、2回） 100千円								
主要な事務・事業の概要	・プロポーザル選定委員謝金（1人） 14千円								
	○都市拠点公共施設整備基本計画策定支援業務委託 10,296千円								
主要な事務・事業の概要	しんざん小学校隣接エリアに公共施設の整備を進めるため、施設のコンセプトや機能・規模等を検討し、基本計画としてまとめた。								
成果・課題				○都市拠点公共施設のコンセプトや基本方針、導入機能等について、基本計画としてとりまとめることができた。 ○施設整備に向けて、整備予定地関係者の理解を得るとともに、地元地域や関係者と協議しながら、施設規模や機能、デザイン、運用方針等について具体化を図る必要がある。					

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	5,445千円		5,450千円	5千円	99.9 %		
	目	09 企画費					(参考)当初予算額	政策企画課	
	事業	14 SDGs推進事業					7,704千円		
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	国補 徳島県 丹後万博実行委員会補助金（1/2） 2,415千円					
目的	令和3年5月の「SDGs未来都市」への選定を契機として、市域におけるSDGsの理念の浸透を図るとともに、その達成に向けた多様な主体による取組を後押しするための各種施策を展開し、SDGsを原動力とした地方創生を推進する。								
主要な事務・事業の概要	OSDGsチャレンジ支援事業補助金 399千円				○丹後万博開催実行委員会補助金 3,000千円				
	SDGsの達成に資する公益的な事業を行う市民活動団体等を支援				高校生が企画・運営するSDGsの祭典「丹後万博」の開催を支援				
	区分	実施主体	事業概要	補助金額	・開催日 令和5年10月28日（土）				
	①	峰山伝統芸能振興会	郷土芸能である「峰山おどり」を継承するため、「峰山おどり大会」を開催する。	300千円	・場所 丹後王国「食のみやこ」				
	①	Satoumi Design Kyoto	ビーチクリーンイベントで集めた海ごみを活用して、アート作品を制作する。	34千円	・来場者数 約2,500人				
主要な事務・事業の概要	①	ゆるりら	産後のお母さんがリラックスして相談や交流ができる場づくり等	65千円	○「若者発！SDGs共創プロジェクト」実施経費 550千円				
	①SDGsまちづくり協働型：補助率2/3、上限300千円				（コーディネート業務委託料）				
	OSDGsプラットフォーム（特設サイト）の運営 1,496千円				中高生向け出前講座の実施				
	令和5年3月に開設した、市内の企業や団体等のSDGs関連情報を集約し、発信する特設サイトを運営				令和6年2月5日（月）丹後緑風高校網野学舎 企画経営科2年生20人				
					中高生と企業等とのマッチングプラットフォームの運用				
成果・課題					○補助金制度や特設サイトの運用により、多様な主体によるSDGs活動の促進を図ることができた。 ○丹後万博や中高生向け出前講座の開催により、SDGsの普及啓発に加え、社会課題の解決に向けて行動できる人材の育成にも資することができた。 OSDGsの目標年次である2030（令和12）年に向け、「京丹後市SDGsとともに創生・発展するまちづくり推進条例」に基づき、積極的な取組を展開していく必要がある。				

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	3,800千円		3,800千円	0千円	100.0 %		
	目	09 企画費					(参考)当初予算額	課	ふるさと応援推進課
	事業	16 まち・ひと・しごと創生基金					0千円		
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	寄附金 ふるさと応援寄附金 3,800千円					
目的	ふるさと応援寄附金（企業版ふるさと納税）を活用して地方創生事業を推進することを目的に、まち・ひと・しごと創生基金へ積立を行う。								
主要な事務・事業の概要	〇まち・ひと・しごと創生基金（寄附分：5件）		3,800千円						
	（参考）基金の状況		（単位：千円）						
	令和4年度末 現 在 高	令和5年度中増減額			令和5年度末 現 在 高				
	①	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	①-②+(③+④)				
	0	0	0	3,800	3,800				
			成果・課題						

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	41,600千円		41,600千円	0千円	100.0 %		
	目	09 企画費					(参考)繰越予算額	課	政策企画課
	事業	50 企画一般経費（繰越）					41,600千円		
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源					
目的	コミュニティ放送（FMたんご）が実施する市内の難聴地域解消事業に対して支援し、市民への情報提供基盤の一層の強化と均衡を図る。								
主要な事務・事業の概要	○コミュニティ放送難聴地域解消事業支援補助金 41,600千円 実施主体： 特定非営利活動法人 京丹後コミュニティ放送 開局日： 令和5年6月1日 整備箇所： 丹後町犬ヶ岬付近、久美浜町品田山頂 ※令和4年度に新型コロナウイルス感染症支え合い基金を39,000千円繰入済み				成果・課題	FMたんごが実施する中継局の整備を支援することで、聴取可能エリアが大幅に拡大し、市内ほとんどのエリアでコミュニティFMが聴取可能となった。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室	
	項	01 総務管理費	32,280千円		32,549千円	269千円	99.1 %			
	目	10 移住・定住推進費					(参考)当初予算額	課	地域コミュニティ推進課	
	事業	01 地域おこし協力隊活動事業					38,220千円			
基本計画		21 市民参画・協働によるまちづくり		主な財源						
目的		人口減少や高齢化が進む中、地域外の人材を誘致し、地域の再生・活性化に向けた活動により、地域力の維持・強化を図る。								
主要な事務・事業の概要	○地域おこし協力隊（任用型：会計年度任用職員）報酬等				14,197千円		○地域おこし協力隊（任用型）の活動等に係る経費			5,190千円
	主な活動地域		所管課	区分	人数	任用始期	・旅費（研修会等の費用弁償）			100千円
	峰山町五箇地域		峰山市民局	継続	1人	令和3年9月～	・需用費（事務用品、公用車燃料代、活動報告書作成）			661千円
	大宮町全域		大宮市民局	継続	1人	令和3年9月～	・自動車損害保険料			74千円
	丹後町宇川地域		丹後市民局	継続	1人	令和5年3月～	・通信運搬費			129千円
	弥栄町全域		弥栄市民局	継続	1人	令和3年9月～	・使用料及び賃借料（自動車借上料、家屋借上料）			4,226千円
	久美浜町佐濃地域		久美浜市民局	継続	1人	令和4年1月～	○有料道路通行料、駐車場使用料			7千円
	○地域おこし協力隊（委託型）業務委託料				10,886千円		○地域おこし協力隊起業支援補助金（2件）			2,000千円
	主な活動地域		所管課	区分	人数	任用始期	成果・課題			
	網野町全域		網野市民局	継続	1人	令和元年11月～				
網野町島津地域		地域コミュニティ推進課	継続	1人	令和5年2月～					
久美浜町一区地域		地域コミュニティ推進課	継続	1人	令和5年3月～					
丹後町間人地域		地域コミュニティ推進課	新規	1人	令和5年11月～					
弥栄町吉野地域		地域コミュニティ推進課	新規	1人	令和6年3月～					
※市内の隊員年度内延べ16人（継続：任用型9人、委託型5人、共創型2人）										
※上記のうち本事業以外で予算執行した隊員は6人（任用型：政策企画課3人、観光振興課1人、共創型：政策企画課1人、農業振興課1人）										
○各隊員が地区での協力活動や地域行事にも積極的に参加するなど、地域の再生・活性化に向けた活動を行い、地域力の維持・強化に寄与できた。 ○委託型協力隊を配置し、新たな地域コミュニティ組織と連携した地域課題の解決及び事業づくりの推進に寄与できた。 ○任期終了後の起業を見据えた経営スキルの向上、新規隊員の受け入れに向けた地域の体制づくりなどが必要である。										

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室	
	項	01 総務管理費	59,119千円		59,194千円	75千円	99.8 %			
	目	10 移住・定住推進費					(参考)当初予算額	課	政策企画課	
	事業	02 移住促進・空家改修支援事業					43,978千円			
基本計画		14 安全でうるおいのある住環境の形成		主な財源	国補	デジ 刈田園都市国家構想交付金（1/2）			5,782千円	
目的	移住希望者の相談窓口・案内業務や情報発信、移住希望者のためのお試し移住体験住宅の運営、空家改修等の経費や新婚・子育て世帯及び若年層のU・Iターン者への住宅購入等に係る経費に対して補助金の交付を行い、本市への移住・定住を促進する。				府補	移住促進事業費補助金（1/2）			9,194千円	
					府補	結婚・子育て応援住宅総合支援事業費補助金（1/2）			2,000千円	
					府補	地域少子化対策重点推進交付金（3/4、1/2）			4,299千円	
					諸収入	お試し移住体験住宅貸付料			357千円	
					諸収入	お試し住宅修繕料負担金			50千円	
主要な事務・事業の概要	○京丹後市移住支援センター設置運営経費 〔受託事業者〕一般社団法人丹後暮らし探求舎 〔センター所在地〕京丹後市峰山町杉谷 〔業務内容〕 ・移住相談員（2人）による移住相談対応、現地案内 ・ホームページ、SNS等による情報発信 ・定住促進プログラム企画運営 ほか ※令和5年度中の移住者：57世帯、106人（所管課把握数） 相談件数：約440件			8,708千円	○結婚新生活支援補助金【所管：こども未来課】 〔交付件数〕26件					8,797千円
	○多子世帯・三世代同居・近居支援補助金【所管：こども未来課】 〔交付件数〕多子世帯3件、三世代同居世帯2件			4,900千円						
	○若者U・Iターン住宅取得等応援補助金 〔交付件数〕住宅改修費用補助4件、住宅購入費用補助7件			2,250千円						
	○移住イベント参加等経費（職員旅費等）			45千円						
	○お試し移住体験住宅運営等経費（網野町、弥栄町の2棟分） 〔利用件数等〕6件、17人			1,374千円	成果・課題	○京丹後市移住支援センターを設置し、移住後の定住支援まで含めてきめ細やかな相談対応を行うことができた。 ○空家の改修工事等に補助金を交付することにより、移住者の定住や空家の活用を進めることができた。 ○新婚・子育て世帯や若年移住者向け補助金の周知広報により認知が拡大し、補助制度の利用と若年層の移住定住を促進することができた。 ○移住を検討する人が増加、多様化する状況を受け、移住者と地域双方のニーズを汲み取りながら施策の検討を行っていく必要がある。				
	○移住スカウトサービス「SMOUT」利用料			1,056千円						
○移住促進・空家改修支援事業補助金 ・移住促進住宅整備事業（空家改修補助19件） ・空家流動化促進事業（所有者家財撤去補助4件）			31,989千円 31,589千円 400千円							

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	21,675千円		22,671千円	996千円	95.6 %		
	目	10 移住・定住推進費					(参考)当初予算額	課	政策企画課
	事業	04 京丹後未来創生人材育成事業					23,858千円		
基本計画		21 市民参画・協働によるまちづくり	主な財源	国補 寄附金	デジ 外田園都市国家構想交付金（1/2） ふるさと応援寄附金			4,077千円 1,000千円	
目的	高校生と地域等を繋ぎ、高校生の意識の変化や気づきを促すコーディネーターを配置するとともに、高校生や若者が、地域や大学生等と交流しながら未来のまちづくりにチャレンジする拠点を運営し、高校生等の地元定着率の向上を図る。								
主要な事務・事業の概要	○地域おこし協力隊活動経費 高校生と地域の架け橋となるコーディネーターを任用、配置。 3人（継続任用）×11か月 〔主な活動場所〕峰山高等学校、丹後緑風高等学校、清新高等学校 ・会計年度任用職員（地域おこし協力隊）報酬等 ・旅費（費用弁償） ・需用費（消耗品費、燃料費） ・役務費（通信運搬費、自動車損害保険料） ・使用料及び賃借料 （自動車借上料3台、家屋借上料3件、有料道路通行料）			10,774千円 8,376千円 192千円 87千円 182千円 1,937千円	○京丹後市未来チャレンジ交流センター運営経費 ・京丹後市未来チャレンジ交流センター運営業務委託料 支援員（1人）による高校生・若者・地域の人などのアイデア・企画のコーディネート等を委託 委託先：一般社団法人 まちの企画部 ・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費） ・役務費（通信運搬費、火災保険料） ・使用料及び賃借料（駐車場使用料、家屋借上料） ※令和5年度中に実現した未来のまちづくりに寄与する プロジェクト数：79件（継続案件含む） 来訪者数：延べ2,754人				
	○地域おこし協力隊員募集業務委託料 委託先：特定非営利活動法人グローバル人材開発センター			1,661千円	成果・課題	○高校へのコーディネーター（地域おこし協力隊員）の配置により、高校生が地域等と繋がる機会を創出することができ、高校生の意識の変化や新たな気づき、地元への愛着の醸成に繋げることができた。 ○京丹後市未来チャレンジ交流センターの設置により、高校生や若者のアイデアを実践していく体制を整えるとともに、若者、地域、企業、高校等が連携したプロジェクトなどが生み出される素地をつくることができた。 ○新規コーディネーターが採用予定人数に達していないため、引き続き人材の確保に努める必要がある。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	1,609千円		1,674千円	65千円	96.1 %		
	目	10 移住・定住推進費					(参考)当初予算額	課	政策企画課
	事業	05 空家利活用推進事業					3,930千円		
基本計画		14 安全でうるおいのある住環境の形成		主な財源	国補 デジ 外田園都市国家構想交付金（1/2） 259千円				
目的		所有者アンケートをもとに空家の掘り起こしを進めるとともに、空家バンクの運営に加えて空家に関する相談対応・伴走支援の体制を強化し、空家の流通促進と空家所有者・予備軍への啓発を図る。							
主要な事務・事業の概要	○空家掘り起こし経費 73千円 空家所有者等に対し今後の意向や地区への情報提供可否等について確認するアンケート調査を実施した。（峰山町、大宮町、弥栄町の457件の空家を対象、247件分について回答を受領） ・印刷製本費 11千円 ・通信運搬費 62千円 ○空家相談窓口設置・運営経費 1,115千円 京丹後市空き家相談窓口を業務委託により新たに設置し、受託事業者が雇用する相談員1人を地域おこし協力隊員として委嘱した。（R6.2～） ・空家相談窓口業務委託料 519千円 ・地域おこし協力隊支援業務委託料 596千円 〔受託事業者〕一般社団法人丹後暮らし探求舎 〔空き家相談窓口業務内容〕 ・空家に関する相談対応、伴走支援、所有者等へのアプローチ ・空家利活用推進のための連携体制整備 ・情報発信、空家所有者や空家予備軍への啓発 ※窓口開設後の相談対応物件数：10件				○定住空家情報バンク運営経費 421千円 ・ホームページ保守委託料 355千円 ・クラウドサービス利用料 66千円 ※令和5年度登録件数： 113件 令和5年度成約件数： 80件（令和4年度以前登録分も含む）				
					成果・課題	○空家所有者等へのアンケート調査を実施したことで、所有者意向の実態把握、所有者への空家利活用に向けたアプローチを進める上でのデータ収集をすることができたほか、チラシ等を同封し空家所有者等への啓発につなげることができた。 ○京丹後市空き家相談窓口を新たに設置し、相談者に応じたきめ細やかな相談対応を行うことができた。 ○所有者アンケート結果をもとに、空家所有者等へのアプローチを進めるとともに、空家の利活用の方策を検討・推進する必要がある。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	129,591千円		129,676千円	85千円	99.9 %		
	目	13 地域自治推進費					(参考)当初予算額	課	地域コミュニティ推進課
	事業	01 自治組織活動支援事業					129,676千円		
基本計画		21 市民参画・協働によるまちづくり		主な財源	繰入金 地域振興基金繰入金 25,000千円				
					市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎債） 81,000千円				
目的	市民が自主的・主体的に行う住民自治活動を支援し、市と地域との協働を推進して住みよい地域社会を実現する。								
主要な事務・事業の概要	○地域振興交付金 126,718千円 〔算出方法〕 均等割200万円＋世帯割5,400円×直近の国勢調査の世帯数				○区長連絡協議会運営事業交付金 2,800千円				
	・峰山町区長会 27,861千円 ・大宮町区長協議会 22,995千円 ・網野町区長連絡協議会 29,367千円 ・丹後町区長連絡協議会 13,915千円 ・弥栄町区長連絡協議会 11,628千円 ・久美浜町区長連絡協議会 20,952千円				・京丹後市区長連絡協議会 400千円 ・峰山町区長会 400千円 ・大宮町区長協議会 400千円 ・網野町区長連絡協議会 400千円 ・丹後町区長連絡協議会 400千円 ・弥栄町区長連絡協議会 400千円 ・久美浜町区長連絡協議会 400千円				
					○先進地視察職員随行旅費、区長会会場借上料 73千円				
					成果・課題	市からの照会や依頼に基づく文書配付などの取扱事務、地域環境の整備、集会所の維持管理、コミュニティ活動等に対し交付金を交付することにより、自治会活動の支援及び市と地域との協働を推進することができた。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室	
	項	01 総務管理費	42,813千円		43,007千円	194千円	99.5 %			
	目	13 地域自治推進費					(参考)当初予算額	課	地域コミュニティ推進課	
	事業	02 コミュニティ支援事業					35,325千円			
基本計画		21 市民参画・協働によるまちづくり	主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金				13,000千円	
				諸収入	自治宝くじコミュニティ助成金				9,800千円	
目的	持続可能な地域づくりを進めるため、地区や市民活動団体等が行うハード及びソフト事業にそれぞれ必要な支援を行い、自治と協働によるまちづくりを進める。									
主要な事務・事業の概要	○地域振興対策事業補助金		26,931千円		○コミュニティビジネス応援補助金【補助率：2/3以内】					437千円
	補助率：修繕1/3以内、まちづくり計画事業1/2以内、世帯数29戸以下5/9以内				教育・子育てに関するコミュニティビジネスを支援（1件）					
	・地域集会施設整備費補助金		10,078千円		○自治宝くじコミュニティ助成金【補助率10/10以内】					9,800千円
					コミュニティ備品の整備を支援					（単位：千円）
	区分	町名	地区等	事業内容	総事業費	補助金額				
	修繕	峰山町	元町区	集会施設外壁等修繕事業	2,365	634				
			安区	集会施設駐車場舗装事業	3,135	1,045				
			二箇区	区倉庫新築事業	4,800	1,533				
		網野町	仲禅寺区	集会施設外壁修繕事業	6,140	4,093				
			掛津区	集会施設空調修繕事業	1,651	550				
		久美浜町	栄町区	集会施設外壁修繕事業	1,231	615				
			口馬地区	集会施設浄化槽接続事業	1,184	591				
			奥三谷区	集会施設トイレ改修事業	2,035	1,017				
	合計				22,541	10,078				
・集会施設等簡易修繕補助金【各市民局】		15,113千円		○宇川地域拠点施設整備基本計画策定業務委託料【丹後市民局】					4,895千円	
地区が所有する施設及び設備の修繕及び整備を支援（129件）										
・村おこし・地域づくり事業補助金【各市民局】		1,740千円		宇川アクティブライフハウス（旧下宇川保育所）の老朽化に伴い、宇川地域拠点施設整備基本計画を策定						
地区等が行う環境景観づくり・地域福祉活動等を支援（13件）										
○市民力活性化支援事業補助金【補助率：2/3以内】		750千円		成果・課題						
市民活動団体が実施する伝統文化継承等に関する活動を支援（4件）										
				○市民活動団体などが実施する地域の活力の向上や課題解決などの取組を支援することで、持続可能な地域づくりの一助とすることができた。						
				○自治組織が行うコミュニティ備品の整備に対して支援を行うことで、地域コミュニティ活動の充実及び強化に資することができた。						
				○宇川地域の活動拠点施設整備について、住民の意向を確認し、基本的な考え方や方向性をとりまとめた基本計画に策定することができた。						
				○地区集会施設等の整備・修繕について、建物や備品の老朽化により申請相談件数が増加傾向にあり、緊急性等を勘案して助成する必要がある。						

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室										
	項	01 総務管理費	45,300千円		45,578千円	278千円	99.3 %												
	目	13 地域自治推進費					(参考)当初予算額	課	地域コミュニティ推進課										
	事業	03 新たな地域コミュニティ推進事業					50,655千円												
基本計画		21 市民参画・協働によるまちづくり		主な財源	国補	デジタル田園都市国家構想交付金（1/2）8,193千円													
目的		過疎化・少子高齢化等の進展により地域運営が困難になりつつある状況を踏まえ、「新たな地域コミュニティ」の組織づくりや、若者や女性が参画しやすい場づくり、協同労働による事業づくりの活動を支援するとともに、地域づくり支援員を各市民局に配置して地域の取組を支援し、持続可能な地域づくりを進める。			国補	生活困窮者自立支援補助金 330千円													
主要な事務・事業の概要	○「新たな地域コミュニティ」組織づくり事業		11,407千円		○ローカルX（エックス）プロジェクト推進事業 4,840千円														
	・新たな地域コミュニティ設立支援事業補助金		10,406千円		・地域で稼ぐ事業づくりの推進や地域を担う人材育成に関する経費														
	<table><tr><th>区 分</th><th>決算額</th><th>上限・補助率</th><th>内訳</th></tr><tr><td>①調査研究・組織設立推進事業（STEP1）</td><td>906千円</td><td>上限200千円 補助率10/10</td><td>（7組織）五箇、峰山東、峰山南、郷、下岡新庄、浅茂川磯、溝谷</td></tr><tr><td>②活動・運営事業（STEP2）</td><td>9,500千円</td><td>上限1,000千円 補助率10/10</td><td>（11組織）河辺、島津、間人、豊栄、宇川、鳥取、吉野、川上、田村、神野、湊</td></tr></table>		区 分	決算額	上限・補助率	内訳	①調査研究・組織設立推進事業（STEP1）	906千円	上限200千円 補助率10/10	（7組織）五箇、峰山東、峰山南、郷、下岡新庄、浅茂川磯、溝谷	②活動・運営事業（STEP2）	9,500千円	上限1,000千円 補助率10/10	（11組織）河辺、島津、間人、豊栄、宇川、鳥取、吉野、川上、田村、神野、湊	地域事業推進に関するセミナー（7月3日開催、32人参加） 地域事業推進に関する講座等（計6回開催、延べ96人参加） 若者や女性など地域プレイヤーの活動支援				
	区 分	決算額	上限・補助率	内訳															
	①調査研究・組織設立推進事業（STEP1）	906千円	上限200千円 補助率10/10	（7組織）五箇、峰山東、峰山南、郷、下岡新庄、浅茂川磯、溝谷															
	②活動・運営事業（STEP2）	9,500千円	上限1,000千円 補助率10/10	（11組織）河辺、島津、間人、豊栄、宇川、鳥取、吉野、川上、田村、神野、湊															
	・地域マネージャー業務委託料		831千円		○協同労働推進事業 2,392千円														
	配置先：峰山東、五箇、郷、溝谷（4組織）				・協同労働推進業務委託料 2,072千円														
	・推進大会の開催経費等		170千円		協同労働研修会（7月9日開催、65人参加） 労働者協同組合の設立を目指す団体支援（3団体）														
	2月24日開催（峰山総合福祉センター）、260人参加				・労協運営支援補助金（1団体）上限300千円、補助率1/2 300千円														
○地域コミュニティ活動交付金（STEP3）		7,885千円		・旅費（厚生労働省西日本フォーラム等） 20千円															
自治公民館活動交付金と一体となった交付金による活動支援				○地域づくり支援員任用経費（6人×12か月）【各市民局】 18,343千円															
交付組織：久美浜一区、久美浜二区、佐濃、野間（4組織）				成果・課題	○「新たな地域コミュニティ」のモデル地域として、22地域の活動を支援することができた。 ○地域での事業説明会を54回開催したほか、推進大会の開催を通して、地域づくりの機運を醸成することができた。 ○モデル地域の増加に伴い他地域の参考となる事例が生まれている中、さらなる地域同士の交流や学び合いを促進する仕組みが必要である。														
○地域共生ステーション研修経費		433千円																	
目的：福祉、地域づくり、公民館など分野を横断した地域支援の推進																			
概要：研修会（2回）、庁内連携支援（オンライン5回）																			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費	6,194千円		6,194千円	0千円	100.0 %						
	目	13 地域自治推進費					(参考) 当初予算額	課	地域コミュニティ推進課				
	事業	04 特定地域づくり事業					6,194千円						
基本計画		21 市民参画・協働によるまちづくり	主な財源	国補 寄附金	特定地域づくり事業推進交付金（1/4） ふるさと応援寄附金			3,097千円 200千円					
目的	「地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律」に基づき、年間を通じた雇用環境を創出する特定地域づくり事業を実施する団体を支援し、地域社会の維持及び地域経済の活性化に寄与する人材の確保及びその活躍の推進を図る。												
主要な事務・事業の概要	○特定地域づくり事業推進補助金（1件） 補助率：1/2以内 補助上限：2,000千円/年・人（派遣職員人件費） 3,000千円/年（事務局運営費） [組合の概要] 名称：京丹後地域づくり協同組合（久美浜町佐野450番地） 京都府認定日：令和4年11月10日（特定地域づくり事業の認定） 組合員数：8者（令和6年3月現在） 派遣労働者数：4人（令和6年3月現在）			6,194千円		〔参考〕特定地域づくり事業協同組合制度の概要 人口急減地域において、中小企業等協同組合法に基づく事業協同組合が、特定地域づくり事業（※）を行う場合について、京都府知事が一定の要件を満たすものとして認定したときは、労働者派遣事業を届出で実施することを可能にするとともに、組合運営費について財政支援を受けることができるようにするもの。 （※）特定地域づくり事業とは、マルチワーカー（季節ごとの労働需要等に応じて複数の事業者の事業に従事）に係る労働者派遣事業等をいう。 【組合の運営経費に対する財政支援イメージ】							
						<table><tr><td>1/2 利用料金収入</td><td>1/4 国交付金</td><td>1/8 特別 交付税</td><td>1/8 市単費</td></tr></table>				1/2 利用料金収入	1/4 国交付金	1/8 特別 交付税	1/8 市単費
	1/2 利用料金収入	1/4 国交付金	1/8 特別 交付税	1/8 市単費									
					1/2 市財政支援 （特定地域づくり事業推進補助金）								
	成果・課題	○市外出身者延べ4人を派遣労働者として正規雇用することで移住を促進するとともに、繁忙期を迎えた事業者の一時的な労働力不足を解決することができた。 ○事業の持続性を高めるために、組合員数の増加、派遣労働者の確保及び自立的な運営に向けた組合としての自主財源の確保が課題である。											

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室			
	項	01 総務管理費	5,622千円		5,622千円	0千円	100.0 %					
	目	13 地域自治推進費					(参考)当初予算額	課	各市民局			
	事業	05 地域活性化イベント補助金					7,440千円					
基本計画		21 市民参画・協働によるまちづくり		主な財源								
目的		地域イベントを支援し、地域の活性化を促進する。										
主要な事務・事業の概要	○地域活性化イベント補助金				5,622千円							
					(単位：千円)							
	イベント名		所管市民局	開催日	参加人数		補助金額					
	丹後夜の市		峰山市民局	8月11日	3,000人		1,656					
	おおみや生き生きフェスタ		大宮市民局	開催なし			0					
	宇川観光祭		丹後市民局	7月26日他	1,400人		420					
	間人みなと祭		丹後市民局	7月22日	10,000人		720					
	弥栄・丹後秋の祭典		弥栄・丹後市民局	開催なし			0					
	やさか納涼祭		弥栄市民局	7月15日	12,000人		2,500					
	久美浜まるかじりまつり		久美浜市民局	10月15日	1,200人		326					
合計				27,600人	5,622							
		成果・課題										
○各地域で開催されるイベントを支援することで、地域の活性化を図ることができた。 ○なお、おおみや生き生きフェスタ及び弥栄・丹後秋の祭典については主催者において実行体制を組織することができず中止となった。												

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室	
	項	01 総務管理費	16,792千円		16,819千円	27千円	99.8 %			
	目	13 地域自治推進費					(参考)当初予算額	16,819千円		
	事業	06 集会施設等指定管理施設運営事業								
基本計画		21 市民参画・協働によるまちづくり	主な財源	市債	過疎地域持続的発展特別事業債（過疎債）				9,000千円	
				使用料	公有財産使用料				12千円	
目的		地域の活動の拠点となる市所有集会施設について、地区等を指定管理者に指定して管理運営を行い、地域コミュニティ活動の充実及び強化を図る。								
主要な事務・事業の概要	○指定管理委託料（10施設）		14,929千円		○指定管理施設修繕料					1,788千円
	(単位：千円)				・五十河地区基幹集落センター誘導灯修繕					199千円
					・久美浜各センター修繕分					1,367千円
					林業センター外壁等修繕					
					健康センター外部電気設備修繕、排水管取替、電線引込口修繕					
					ぎょそんセンターエアコン修繕					
					・緊急対応分					222千円
					五十河地区基幹集落センタースロープ修繕					
					健康センター浄化槽内部ポンプ修繕					
					○指定管理施設火災保険料					75千円
					成果・課題	○地区等の指定管理者による適切な管理運営により、良好な利用環境を提供した。				
						○効率的・効果的な施設運営に向け、老朽化等施設の状況に応じた管理運営を行う必要がある。				

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	94千円		123千円	29千円	76.4 %		
	目	13 地域自治推進費					(参考)当初予算額	課	地域コミュニティ推進課
	事業	50 地域自治推進一般経費					123千円		
基本計画		21 市民参画・協働によるまちづくり		主な財源					
目的	地域自治の推進を目的に、各種会議等への参加経費								
主要な事務・事業の概要	○事務経費				74千円				
	・消耗品費				32千円				
	・火災保険料（旧下宇川保育所）				42千円				
	○全国水源の里連絡協議会負担金				20千円				
					成果・課題	事務執行上必要となる経費の執行を行うとともに、全国水源の里連絡協議会のセミナー等に参加し、会員相互の情報交換等を行うことができた。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	156千円		222千円	66千円	70.2 %		
	目	14 地域振興費					(参考)当初予算額	課	丹後市民局
	事業	03 丹後半島駅伝大会開催事業					222千円		
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	諸収入 丹後半島駅伝大会協力金 81千円				
目的	京都府内の自治体職員等の健康増進と元気回復、相互連携を促進するとともに、府民スポーツの発展に寄与することを目的に実施する。また、京丹後市の魅力をPRし、再訪のきっかけづくりを行う。								
主要な事務・事業の概要	○報償費 142千円 ・報償費（競技役員協力金 21人） 46千円 ・土地使用謝金（スタート地点、中継所の土地借用） 35千円 ・報償物品（市特別賞 丹後ばら寿司手づくり52セット） 61千円			○令和5年度 第36回丹後半島駅伝大会 ・開催日：令和5年10月29日 ・コース：経ヶ岬～丹後小学校グラウンド ・参加者：府内自治体職員（府民一般参加あり） 32チーム 選手約230人					
	○需用費 14千円 ・消耗品費（汁容器260個） 14千円			※新型コロナウイルス対策として、令和2年度（第33回）、令和3年度（第34回）大会は中止、令和4年度（第35回）は2日間の大会日程を1日に短縮・開会式の中止など大会規模を縮小して開催した。					
				成果・課題	本大会は、一般財団法人京都府市町村職員厚生会に加入する京都府内の自治体職員等による駅伝大会であり、令和5年度は4年ぶりの本格開催。32チームの参加があり、京丹後市の魅力をPRすることができた。				

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室																								
	項	01 総務管理費	1,095千円		1,127千円	32千円	97.1 %																										
	目	14 地域振興費					(参考)当初予算額	課	久美浜市民局																								
	事業	04 久美浜公会堂等管理事業					1,127千円																										
基本計画		21 市民参画・協働によるまちづくり		主な財源	使用料 久美浜公会堂使用料 38千円																												
目的		市民及び地域社会の福祉の増進と文化の向上を図るため、久美浜公会堂及び浜公園（屋外トイレを含む）の管理を行う。																															
主要な事務・事業の概要	○久美浜公会堂維持管理経費 583千円				○浜公園維持管理経費 512千円																												
	・消耗品費（トイレットペーパー・火災報知設備電池ほか） 32千円				・消耗品費（トイレットペーパー、除草剤ほか） 25千円																												
	・燃料費（公会堂灯油代） 11千円				・火災保険料 1千円																												
	・光熱水費（公会堂電気・上下水道） 104千円				・施設清掃委託料（浜公園・浜公園トイレ） 315千円																												
	・修繕料（障子張替、裏ロドアガラス） 278千円				・樹木等管理委託料（浜公園） 148千円																												
	・ピアノ調律手数料 11千円				・原材料費（浜公園グラウンド整備用山土） 23千円																												
	・火災保険料 23千円																																
	・施設清掃委託料（公会堂） 79千円																																
	・消防設備等保守点検委託料 33千円																																
	・防火対象物定期点検報告業務委託料 12千円																																
	※久美浜公会堂利用状況																																
	<table><tr><th>年 度</th><th>回数</th><th>人数</th><th>備 考</th></tr><tr><td>令和元年度</td><td>147</td><td>7,198</td><td>教室、各種イベント、発表会、遠足など</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>102</td><td>3,082</td><td>教室、各種イベント、発表会、遠足など</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>105</td><td>2,665</td><td>教室、各種イベント、発表会、遠足など</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>139</td><td>8,503</td><td>教室、各種イベント、発表会、遠足など</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>146</td><td>9,075</td><td>教室、各種イベント、発表会、遠足など</td></tr></table>				年 度	回数	人数	備 考	令和元年度	147	7,198	教室、各種イベント、発表会、遠足など	令和2年度	102	3,082	教室、各種イベント、発表会、遠足など	令和3年度	105	2,665	教室、各種イベント、発表会、遠足など	令和4年度	139	8,503	教室、各種イベント、発表会、遠足など	令和5年度	146	9,075	教室、各種イベント、発表会、遠足など					
	年 度	回数	人数	備 考																													
	令和元年度	147	7,198	教室、各種イベント、発表会、遠足など																													
	令和2年度	102	3,082	教室、各種イベント、発表会、遠足など																													
	令和3年度	105	2,665	教室、各種イベント、発表会、遠足など																													
	令和4年度	139	8,503	教室、各種イベント、発表会、遠足など																													
令和5年度	146	9,075	教室、各種イベント、発表会、遠足など																														
				成果・課題	○施設の維持管理を適切に行い、地域の福祉、文化拠点として活用し、新型コロナウイルス移行もあって、利用回数、利用者の増加にもつながった。 ○管理人が常駐していないため、破損、汚損等の情報収集や状況確認等の改善が必要である。 ○経年劣化による維持修繕費用の増加が見込まれるため、計画的な修繕を行う必要がある。																												

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	9,937千円		10,060千円	123千円	98.7 %		
	目	14 地域振興費					(参考)当初予算額	課	網野市民局
	事業	05 (仮称) 網野交流センター・交流広場整備事業					14,102千円		
基本計画		21 市民参画・協働によるまちづくり	主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 7,000千円					
目的	網野庁舎跡地を活用した地域拠点を整備し、地域の活性化を図るため、施設整備に係る基本計画を策定する。								
主要な事務・事業の概要	○(仮称) 網野交流センター・交流広場整備推進経費		9,919千円						
	・報償費(プロポーザル審査委員謝金)		56千円						
	・旅費(プロポーザル審査委員 費用弁償2人)		25千円						
	・出張旅費(東京 国土交通省 普通旅費1人)		48千円						
	・基本計画策定等委託料		9,790千円						
	○視察経費		18千円						
	・視察旅費(泉大津市 費用弁償2人、普通旅費2人)		7千円						
	・有料道路通行料		11千円						
					成果・課題	地域の意見等を反映した(仮称) 網野交流センター・交流広場整備基本計画を、令和6年3月に策定することができた。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費	160,635千円		160,635千円	0千円	100.0 %						
	目	15 公共交通対策費					(参考)当初予算額	課	政策企画課				
	事業	02 地方バス路線運行維持対策事業					144,917千円						
基本計画		15 ひとが行き交う公共交通の充実	主な財源	府補助入金	市町村運行確保生活路線維持費補助金			7,745千円					
目的		国及び府と協調して生活交通路線バスの運行を支援し、生活交通としての地域のバス路線を維持・確保する。		地域振興基金繰入金	地域振興基金繰入金			65,000千円					
主要な事務・事業の概要	○市町村運行確保生活路線維持費補助金（国庫補助対象外路線分） 14,469千円 自主運行路線の維持に対する補助 (単位：便/日(平日)、千円)				【国庫補助路線分】 (単位：便/日(平日)、千円)								
	系 統 名	起 点	主な経由地	終 点	便数	補助金額	系 統 名	起 点	主な経由地	終 点	便数	補助金額	
	弥栄網野砂丘線	清新高校前	網野駅	久美浜温泉湯元館	11	14,469	蒲入線	上宮津	与謝の海病院	経ヶ岬	4	485	
	○地方バス路線運行維持対策補助金（国庫補助対象路線分） 146,166千円 丹後海陸交通(株)のバス路線の維持に対する補助 【フィーダー系統補助路線分】 (単位：便/日(平日)、千円)	系 統 名	起 点	主な経由地	終 点	便数	補助金額	峰山線	野田川丹海前	京丹後大宮駅	峰山駅	13	13,071
	峰山四辻線	峰山駅	マイン前	四辻	10	9,402	海岸線	マイン前	網野・間人	経ヶ岬	14	37,539	
峰山延利線	峰山	マイン前	小町公園	9	6,564	間人循環線	峰山	溝谷・間人	峰山駅	14	34,821		
合 計				19	15,966	久美浜線	マイン前	野中・友重	久美浜駅	12	18,283		
※フィーダーとは、交通網において幹線と接続して支線の役割をもって運行される路線						丹後峰山線	マイン前	溝谷・間人	経ヶ岬	10	26,001		
						合 計				67	130,200		
成果・課題	○路線バスの運行を維持・確保するとともに、地域住民や観光客の足として利便性の維持を図った。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が落ち込んでいたが、少しずつ回復しており、引き続き住民の移動手段として、維持・確保が必要である。 ○慢性的な運転士不足により、バス路線の再編・廃止が計画される中、持続可能な公共交通網の確保等について検討・対応していく必要がある。												

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室			
	項	01 総務管理費	13,683千円		13,998千円	315千円	97.7 %					
	目	15 公共交通対策費					(参考)当初予算額	課	政策企画課			
	事業	03 市営バス運行事業					14,247千円					
基本計画		15 ひとが行き交う公共交通の充実	主な財源	使用料	市営バス乗車料				2,019千円			
目的		生活の足として必要な市営の路線バスを運行し、地域の生活交通を維持・確保する。		府補	市町村運行確保生活路線維持費補助金				1,593千円			
			諸収入	市有自動車損害共済金				228千円				
主要な事務・事業の概要	○運行管理委託料			9,370千円		〔参考〕路線別の利用人数の推移 (単位：人)						
	(単位：便/日(通常期平日))											
	系統名	起点	主な経由地	終点	便数	委託金額	期 間	弥栄延利線	佐濃北線	豊栄竹野線	宇川線	合計
	弥栄延利線	溝谷	延利・須川	溝谷	4	3,960千円	H30年10月～R元年9月	3,216	3,059	190	273	6,738
	佐濃北線	佐野丙	久美浜病院	久美浜駅	7	3,247千円	R元年10月～R2年9月	2,680	2,659	217	189	5,745
	豊栄竹野線	三宅橋	間人診療所	間人	デマンド	2,163千円	R2年10月～R3年9月	2,036	2,896	215	186	5,333
	宇川線	鞍内	宇川温泉よし野の里	上山	デマンド		R3年10月～R4年9月	1,896	2,935	232	182	5,245
	合 計					9,370千円	R4年10月～R5年9月	2,073	2,871	343	201	5,488
	○運行管理経費（燃料費、修繕料等）			4,313千円		成果・課題 ○民間の公共交通機関の維持確保が困難な地域における、住民の移動手段を確保するとともに、利便性の維持を図った。 ○利用人数は多くはないものの、引き続き住民の移動手段として、維持・確保が必要である。 ○運行の持続性を確保するための利用促進策や、住民の移動手段確保について、引き続き検討する必要がある。 ○慢性的な運転士不足の中、持続可能な公共交通網の確保等について検討・対応していく必要がある。						

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室																		
	項	01 総務管理費	152,966千円		235,501千円	82,535千円	64.9 %																				
	目	15 公共交通対策費					(参考)当初予算額	課	政策企画課																		
	事業	04 京都丹後鉄道利用促進対策事業					150,656千円																				
基本計画		15 ひとが行き交う公共交通の充実		主な財源	国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金			3,580千円																		
目的	京都府、兵庫県及び沿線市町が一体となり、京都丹後鉄道の安全・快適な運行の確保に対して支援するとともに、高齢者片道200円レール等により利用促進を図る。				府補	きょうと地域連携交付金（高齢者片道200円レール事業）			3,538千円																		
					繰入金	地域振興基金繰入金			25,000千円																		
					市債	過疎地域持続的発展特別事業債（過疎債77ト）			66,000千円																		
				市債	京都丹後鉄道利用促進対策事業債（合併特例債）			34,600千円																			
主要な事務・事業の概要	【丹後2市2町が連携して支援】（利用促進） ○高齢者片道200円レール事業委託料 7,144千円 ○200円レール利用促進チラシ印刷費 152千円 〔参考〕200円レール事業利用者の推移 <table><tr><td>年 度</td><td>利用人数</td><td>備 考</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>10,395人</td><td>2市2町合計 25,585人</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>12,261人</td><td>2市2町合計 30,185人</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>13,484人</td><td>2市2町合計 30,659人</td></tr></table>			年 度	利用人数	備 考	令和3年度	10,395人	2市2町合計 25,585人	令和4年度	12,261人	2市2町合計 30,185人	令和5年度	13,484人	2市2町合計 30,659人	○鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金 29,110千円 鉄道事業の保安度の向上のため、車両設備等の整備に要する経費を補助 ・京都府域宮津線沿線市町分 70,381千円×41.36% ○京都丹後鉄道原油価格高騰対策事業補助金 4,777千円 原油価格高騰による軽油及び電力の単価高騰に伴う増加分に対して支援 ・京都府域市町分 16,843千円×28.361% ○地域公共交通計画策定支援事業費負担金 355千円 ○京都丹後鉄道利用促進協議会負担金 150千円 <table><tr><td rowspan="2">参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>153,572千円</td></tr><tr><td>実質的な予算執行率</td><td>99.6 %</td></tr></table>							参考	繰越明許費を除いた最終予算額	153,572千円	実質的な予算執行率	99.6 %
				年 度	利用人数	備 考																					
				令和3年度	10,395人	2市2町合計 25,585人																					
				令和4年度	12,261人	2市2町合計 30,185人																					
				令和5年度	13,484人	2市2町合計 30,659人																					
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	153,572千円																								
		実質的な予算執行率	99.6 %																								
	【京都府、兵庫県及び沿線市町が連携して支援】（運行維持整備） ○北近畿タンゴ鉄道支援費基盤管理補助金 103,835千円 基盤部分（線路、電路、車両）の維持修繕や施設保有会社の管理経費等を支援 ・京都府域市町分 366,119千円×28.361% 〔令和5年度拠出金合計額（市町・府県拠出金の合計額）771,440千円〕 ○北近畿タンゴ鉄道支援費基盤整備補助金 7,443千円 基盤部分（信号用発動発電機）の整備経費等を支援 ・京都府域宮津線沿線市町分 17,996千円×41.36% 〔令和5年度拠出金合計額（市町・府県拠出金の合計額）53,119千円〕			■令和6年度への繰越事業 令和7年3月完了予定 ・鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金 26,801千円 ・地域公共交通再構築事業費補助金 55,128千円																							
				成果・課題	○京都丹後鉄道の施設所有会社である北近畿タンゴ鉄道㈱に補助金を交付し、同鉄道の運行を支援することができた。 ○原油価格高騰に伴い経営に甚大な影響を受けているWILLER TRAINS㈱に対して沿線自治体で協調して支援することで、鉄道の維持を図った。 ○高齢者片道200円レールの実施により、鉄道の利用促進を図った。 ○開業以来約90年が経過し、設備等が老朽化するなど、同鉄道を取り巻く環境は厳しく、継続した支援が必要である。																						

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	23,204千円		23,205千円	1千円	99.9 %		
	目	15 公共交通対策費					(参考)繰越予算額	課	政策企画課
	事業	04 京都丹後鉄道利用促進対策事業（繰越）					23,205千円		
基本計画	15 ひとが行き交う公共交通の充実		主な財源	市債 京都丹後鉄道利用促進対策事業債（合併特例債） 22,000千円					
目的	京都府、兵庫県及び沿線市町が一体となり、京都丹後鉄道の安全・快適な運行の確保に対して支援する。								
主要な事務・事業の概要	○鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金 23,204千円 鉄道事業の保安度の向上のため、車両設備・線路設備の整備に要する経費を補助した。 ・京都府域宮津線沿線市町分 56,104千円×41.36% ※市町・府県・国補助金の合計額 283,154千円								
					成果・課題	鉄道輸送の安全確保及び利用環境改善のため、施設所有会社である北近畿タンゴ鉄道㈱に補助金を交付し、同鉄道の運行の確保を支援した。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室																																																							
	項	01 総務管理費	65,870千円		66,125千円	255千円	99.6 %																																																									
	目	15 公共交通対策費					(参考)当初予算額	課	政策企画課																																																							
	事業	05 駅舎等施設管理事業					66,661千円																																																									
基本計画			15 ひとが行き交う公共交通の充実		主な財源	使用料	公有財産使用料			1,080千円																																																						
						使用料	メリアルグート久美浜使用料			332千円																																																						
						使用料	京丹後大宮駅ふれあいホール使用料、網野観光情報センター使用料			505千円																																																						
目的	市内7駅の維持管理を行うとともに、有人駅（6駅）において各種切符等を販売することにより、鉄道利用者の利便性向上及び鉄道利用促進を図る。					繰入金	地域振興基金繰入金			33,000千円																																																						
						諸収入	駅舎維持管理費負担金			996千円																																																						
						諸収入	乗車券類販売手数料、JICA使用料等			3,903千円																																																						
主要な事務・事業の概要	〇市内7駅維持管理経費 65,870千円 ・燃料費、光熱水費 4,610千円 ・修繕料（施設・設備の修繕） 751千円 ・通信運搬費（電話代） 366千円 ・委託料（清掃、機械警備、設備点検等） 7,741千円 ・丹鉄乗車券類発売等業務委託料 48,840千円 ・土地借上料（駐輪場、駐車場等） 1,220千円 ・会計年度任用職員報酬等（1人、週2日勤務） 1,145千円 ・工事請負費（久美浜駅屋根改修工事） 528千円 ・その他（消耗品費、ごみ持込手数料、火災保険料等） 669千円				〔参考〕市内各駅乗車人数の推移（単位：人）																																																											
					<table><tr><th>駅名</th><th>R元</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>京丹後大宮</td><td>45,337</td><td>39,652</td><td>35,549</td><td>39,300</td><td>40,026</td></tr><tr><td>峰山</td><td>102,689</td><td>79,331</td><td>89,569</td><td>91,139</td><td>84,694</td></tr><tr><td>網野</td><td>68,678</td><td>52,432</td><td>51,949</td><td>57,321</td><td>56,163</td></tr><tr><td>夕日ヶ浦木津温泉</td><td>39,261</td><td>27,001</td><td>23,302</td><td>27,677</td><td>24,785</td></tr><tr><td>小天橋</td><td>24,379</td><td>20,127</td><td>22,583</td><td>26,364</td><td>21,224</td></tr><tr><td>かふと山</td><td>22,306</td><td>17,830</td><td>14,779</td><td>14,565</td><td>11,673</td></tr><tr><td>久美浜</td><td>28,245</td><td>19,587</td><td>22,502</td><td>25,129</td><td>25,058</td></tr><tr><td>合計</td><td>330,895</td><td>255,960</td><td>260,233</td><td>281,495</td><td>263,623</td></tr></table>						駅名	R元	R2	R3	R4	R5	京丹後大宮	45,337	39,652	35,549	39,300	40,026	峰山	102,689	79,331	89,569	91,139	84,694	網野	68,678	52,432	51,949	57,321	56,163	夕日ヶ浦木津温泉	39,261	27,001	23,302	27,677	24,785	小天橋	24,379	20,127	22,583	26,364	21,224	かふと山	22,306	17,830	14,779	14,565	11,673	久美浜	28,245	19,587	22,502	25,129	25,058	合計	330,895	255,960	260,233	281,495	263,623
					駅名	R元	R2	R3	R4	R5																																																						
					京丹後大宮	45,337	39,652	35,549	39,300	40,026																																																						
					峰山	102,689	79,331	89,569	91,139	84,694																																																						
					網野	68,678	52,432	51,949	57,321	56,163																																																						
					夕日ヶ浦木津温泉	39,261	27,001	23,302	27,677	24,785																																																						
					小天橋	24,379	20,127	22,583	26,364	21,224																																																						
					かふと山	22,306	17,830	14,779	14,565	11,673																																																						
					久美浜	28,245	19,587	22,502	25,129	25,058																																																						
合計	330,895	255,960	260,233	281,495	263,623																																																											
成果・課題 〇駅舎の適正な維持管理及び有人駅での定期券や企画切符、JR線連絡切符等の窓口販売を行い、鉄道利用者の利便性の確保等を推進した。 〇観光案内や情報発信機能の強化、駅の利便性・快適性の向上とともに、駅周辺を含めたにぎわいづくりを推進する必要がある。																																																																

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	2,441千円		2,464千円	23千円	99.0 %		
	目	15 公共交通対策費					(参考)当初予算額	課	政策企画課
	事業	50 交通対策一般経費					3,732千円		
基本計画		15 ひとが行き交う公共交通の充実		主な財源					
目的	公共交通全般の利用促進及び公共交通確保対策業務に関する事務経費								
主要な事務・事業の概要	○公共交通ガイドブック印刷製本費 年2回発行、各26,500部				1,925千円				
	○京丹後市地域公共交通活性化協議会 地域公共交通の課題解決や活性化など、持続可能な公共交通網の構築を目指して、市地域公共交通計画を策定した。				167千円				
	・委員謝金、費用弁償 ※委員16人、アドバイザー1人、3回実施				167千円				
	○職員旅費、有料道路通行料、駐車場使用料				274千円				
	○負担金				75千円				
	・山陰新幹線京都府北部ルート誘致・鉄道高速化整備促進同盟会負担金 参加自治体：京都府北部7市町				25千円				
・山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議負担金 参加自治体：52自治体（山口県～福井県）				50千円		成果・課題	○公共交通ガイドブックを全戸配付することにより、公共交通の利用促進を図った。 ○持続可能な公共交通網の構築を目指し市地域公共交通計画を策定した。 ○山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議等については、引き続き関係自治体等と連携し、日本海側の高速鉄道の整備実現に向けた取組を進めていく必要がある。 ○慢性的な運転士不足の中、持続可能な公共交通網の確保に向け、公共交通計画に沿って事業を実施していく必要がある。		

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	2,736千円		2,783千円	47千円	98.3 %		
	目	05 観光振興費					(参考)当初予算額	課	観光振興課
	事業	07 観光プロモーション推進事業【再掲】					3,741千円		
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	府補 ぎょうと地域連携交付金（観光振興事業） 549千円					
目的	各種広報媒体の活用やイベントでのキャンペーン、広域観光団体との連携によるPR活動の展開により、観光資源、観光情報を発信し、観光誘致の促進を図る。								
主要な事務・事業の概要	○誘客事業等情報発信及び広告掲載等経費 330千円				○「ミニポートピア京丹後8周年記念競走」特産展等PR経費【政策企画課】 47千円				
	・FM京都（αステーション）広告（事業告知等：3回） 330千円 海水浴場開設情報×1回 京バイク情報（周遊観光・滞在観光を促すeバイク活用メニュー）×1回 夏の定番活イカ情報×1回				開催日：6/11開催、開催場所：尼崎ボートレース場 ・BTS京丹後開設8周年記念競走に係る大会入賞商品 35千円 （優勝カップ、丹後コシヒカリ米） ・物産展開催に係る旅費、有料道路通行料 12千円				
	○観光宣伝活動等事務経費 461千円								
	・旅費、有料道路通行料等 221千円								
	・キャンペーン景品、観光宣伝物品等 141千円								
	・パンフレット（フィルムコミッション）増版（1,000部） 99千円								
	○広域観光団体負担金 1,898千円								
	・（一社）豊岡観光イノベーション（豊岡DMO） 300千円				成果・課題	○新型コロナの感染症法上の5類移行後は、広域観光団体の会議や観光PRの出展回数が回復しつつあり、域内連携の強化を図ることができた。 ○FM京都（αステーション）で、海水浴場駐車場混雑情報システムの案内と、令和5年3月から開始した京バイクに関する放送を行い、長期滞在や周遊観光に向けた新しい観光コンテンツを宣伝できた。 ○京バイクは継続した利用促進を行う必要がある。			
	・（公社）京都府観光連盟 390千円								
	・北近畿広域観光連盟 1,108千円								
	・（特非）ジャパン・フィルムコミッション 100千円								